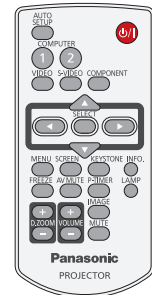
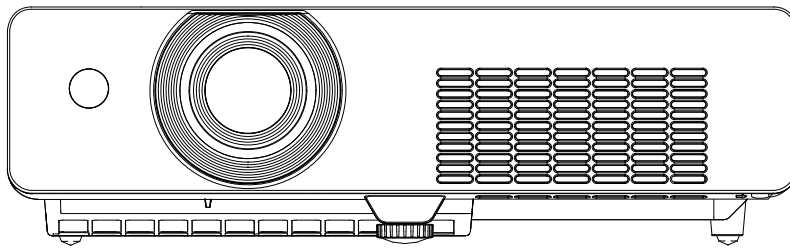
Panasonic®

取扱説明書
本体操作編

液晶プロジェクター 業務用

品番 PT-LX26H
PT-LX30H
PT-LW25H

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ ご使用の前に『**安全上のご注意**』（☞ 6 ～ 9 ページ）**を必ずお読みください。**
■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

ネットワークを用いての使い方については「取扱説明書 ネットワーク操作編」をご覧ください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

JAPANESE

KE4CC

商標について

• この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
　なお、本文中ではⓇや TM マークは明記していません。

本書内のイラストについて

• プロジェクター本体、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

• 本書では、参照ページを（☞ 00 ページ）のように示しています。

用語について

• 本書では付属品の「ワイヤレスリモコン」を「リモコン」と記載しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本機の特長

オートセットアップ機能

▶〈AUTO SETUP〉ボタンを押すと、自動入力切換、自動台形補正、自動PC 調整の操作ができます。

ダイレクトパワーオフ機能

▶ ダイレクトパワーオフ機能により、投写中でもコンセントから電源コードを抜いたり、ブレーカーをオフにすることができます。

プレゼンテーションに便利な機能

▶ デジタルズーム機能により、プレゼンテーション中に重要な部分を拡大表示できます。

有線 LAN 機能

▶ ネットワーク経由でプロジェクターの操作・管理ができます。

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(☞19 ページ)

2. 本機と外部機器を接続する
(☞ 24 ページ)

3. 電源コードを接続する
(☞ 25 ページ)

4. 電源を入れる
(☞ 26 ページ)

5. 投写する映像を選択する
(☞ 30 ページ)

6. 映像の映り具合を調整する
(☞ 30 ページ)

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。（➡ 2 ～ 6 ページ）

安全上のご注意

安全上のご注意 6

はじめに

ご使用になる前に 10

本機の運搬について 10

本機の設置について 10

セキュリティに関するお願い 11

廃棄について 11

本機の取り扱いについて 12

付属品の確認 13

別売品 14

各部の名称とはたらき 15

リモコン 15

本体 16

本体操作部 17

接続端子部 17

リモコンの使い方 18

電池を入れる、取り出す 18

リモコンコードを指定する 18

準備

設置する 19

投写方式 19

設置オプションについて（別売品） 19

投写関係 20

アジャスター脚の調整 23

接続する 24

接続の前に 24

接続例 24

基本的な使い方

電源を入れる / 切る 25

電源コードの接続 25

〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターについて 26

電源を入れる 27

暗証番号を入力する 28

暗証番号登録中を知らせるシール 28

電源を切る 29

投写する 30

投写する映像を選択する 30

映像の映り具合を調整する 30

リモコンで操作する 31

オートセットアップ機能を使う 31

入力信号を切り換える 31

〈SCREEN〉ボタン 31

〈KEYSTONE〉ボタン 31

〈INFO.〉ボタン 32

静止機能を使う 32

AV ミュート機能を使う 32

〈P-TIMER〉ボタン 33

〈LAMP〉ボタン 33

〈D.ZOOM〉ボタン 33

〈VOLUME〉ボタン 33

〈IMAGE〉ボタン 33

〈MUTE〉ボタン 33

調整と設定

メニュー操作 34

メニュー画面の操作方法 34

メインメニュー 35

サブメニュー 35

「入力」について 37

コンピューター 1：RGB / Component / RGB(Scart)/S-video 37

コンピューター 2：RGB 37

ビデオ 37

「自動 PC 調整」について 39

自動 PC 調整 39

「手動 PC 調整」について 40

トラッキング 40

総ドット数 40

水平位置 40

垂直位置 40

コンピューター情報 41

クランプ 41

画面領域 H 41

画面領域 V 41

リセット 41

データ消去 41

メモリー 41

「画質モード」について 42

ダイナミック 42

標準 42

リアル 42

シネマ 42

黒 (緑) 板 42

カラーボード 42

イメージ 1 ～ 4 42

「画質調整」について 43
- コントラスト 43
- 明るさ 43
- 色の濃さ 43
- 色合い 43
- アイリス 43
- 色温度 44
- 赤 44
- 緑 44
- 青 44
- 画質 44
- ガンマ補正 44
- ノイズリダクション 45
- プログレッシブ 45
- リセット 45
- メモリー 45

「スクリーン」について 46
- ノーマル 46
- フル 46
- ワイド (16:9) 46
- ズーム 46
- リアル 46
- ピッタリワイド [PT-LW25H のみ] 46
- カスタム 46
- カスタム調整 47
- デジタルズーム ＋ 47
- デジタルズーム - 47
- 台形補正 47
- 天つり 48
- リア投映 48
- スクリーンアスペクト [PT-LW25H のみ] 48
- リセット 48

「サウンド」について 49
- 音量 49
- 消音 49

「設定」について 50
- 言語 50
- メニュー位置 50
- オートセットアップ 50
- バックグラウンド 51
- オンスクリーン表示 51
- ロゴ 51
- 端子 52
- パワーマネージメント 52
- ダイレクトオン 52
- スタンバイモード 52
- プレゼンテーションタイマー 53
- クローズドキャプション 53
- ランプパワー 54
- リモコンコード 54
- セキュリティ 54
- ファン 55
- ファン制御 55
- 映像遅延制御 55
- ランプ使用時間 55
- フィルターカウンター 56
- 警告履歴 56
- AMX D.D. 56
- 初期設定 56

「インフォメーション」について 57
- インフォメーション表示 57

点検と部品交換

インジケーターの表示について 58
- インジケーターが点灯したら 58

お手入れ / 部品交換 59
- お手入れ / 部品交換の前に 59
- お手入れ 59
- 部品交換 59
- レンズキャップの取り付け 63

故障かな !? 64

付録

付録 65
- シリアル端子について 65
- その他の端子について 68
- 対応信号リスト 69

仕様 72
- 寸法 74

天つり金具取り付け時の注意事項 74

保証とアフターサービス 75
- 保証書（別添付） 75
- **補修用性能部品の保有期間** 75
- 修理を依頼されるとき 75

さくいん 76

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

電源について	
異常・故障時には直ちに使用を中止する	
 電源プラグを抜く	■ **異常があったときは、電源プラグを抜く** [**内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音が発生したとき**] （そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。） ⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。 ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ **電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込む** （差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。） ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
	■ **電源プラグのほこりなどは、定期的にとる** （プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。） ⇒ 半年に一度は電源プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。 ⇒ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	■ **電源コード・プラグが破損するようなことはしない** [**傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど**] （傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。） ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない** （たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。）
	■ **付属の電源コード以外は使用しない** （付属の電源コードを使わないと感電の原因になります。）
 ぬれ手禁止	■ **ぬれた手で電源プラグや電源コネクターに触れない** （感電の原因になります。）
接触禁止	■ **雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない** （感電の原因になります。）

警告（つづき）

ご使用・設置について

■ **放熱を妨げない**
［布や紙などの上に置かない（吸気口に吸着する場合があります）、風通しが悪く狭い所に押し込まない］
（内部が高温になり、火災の原因になることがあります。）
⇒ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから 50 cm 以上離して設置してください。

■ **排気口には手やものを近づけない**
［手や顔を近づけない、指を入れない、熱に弱いものを近くに置かない］
（排気口からは熱風がでているため、やけどやけが、変形の原因になります。）

■ **カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない**
（内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。）

■ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない**
（火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。）

■ **荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない**
（落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。）

■ **使用中は投写レンズをのぞかない**
（投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。）
⇒ 使用中に本機から離れる場合は主電源を切ってください。
⇒ 特にお子様にはご注意ください。

■ **内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**
（ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。）
⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。
⇒ 特にお子様にはご注意ください。

■ **レンズキャップを取り付けたまま投写しない**
（火災の原因になることがあります。）

分解禁止

■ **分解や改造をしない**
（内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。）
⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

「本体に表示した事項」

■ **天井取り付け（天つり）などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する**
（工事の不備により、落下事故の原因となります。）

■ **当社で指定した天つり金具を使用する**
（天つり金具の不備により、落下事故の原因となります。）
⇒ 天つり金具に付属のワイヤーで落下防止の処置を行ってください。

警告（つづき）

付属品・消耗品について	
	■ **ランプユニットを分解しない** （ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。）
	■ **電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない** **[液が目に入ったら目をこすらない]** （失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。） ⇒ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
	■ **電池は誤った使い方をしない** ● **指定された電池以外は使用しない** ● **乾電池は充電しない** ● **加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない** ● **＋と－を針金などで接続しない** ● **＋と－を逆に入れない** ● **ネックレスやヘアピンなど金属が使用されているものと一緒に保管しない** ● **新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない** ● **アルカリ乾電池またはマンガン乾電池以外は使用しない** ● **被覆のはがれた電池は使わない（電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください）** （液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。）
	■ **付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない** （付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。）
	■ **ランプユニットの交換は、電源を切り、ランプが冷えてから（45 分以上待ってから）行う** （カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。）
	■ **ランプユニットの交換は、電源を切ってから行う** （ランプの点灯中は紫外線を発生しています。） ⇒ 正しい手順で交換を行ってください。
	■ **使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す** （そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。）

⚠ 注意

電源について

電源プラグを抜く

■ **長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
（電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。）

■ **お手入れ、部品交換の際は、電源プラグをコンセントから抜く**
（感電の原因になることがあります。）

■ **電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ、電源コネクターを持って抜く**
（コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。）

ご使用・設置について

■ **本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない**
（バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。）

■ **異常に温度が高くなる所に置かない**
（外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。）
⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。

■ **移動させる場合は、必ず接続線を外す**
（コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。）

■ **天つりする場合は、取り付けねじや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置する**
（天井内部の金属部と接触して、感電の原因になることがあります。）

付属品・消耗品について

■ **ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない**
（散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。）
⇒ 直ちに換気を行ってください。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
⇒ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。
⇒ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

■ **古いランプユニットは使用しない**
［使用時間を超えたランプユニットは使用しない］
（そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。）
⇒ ランプユニットは消耗部品です。

■ **長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す**
（電池の液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。）

お手入れについて

■ **エアフィルターユニットは、水洗いしない**
（故障の原因になります。）
⇒ 水などでぬれないようにご注意ください。

■ **1 年に 1 度は、内部の清掃を販売店に依頼する**
（本機の内部にほこりがたまったままで使用を続けると、火災の原因になることがあります。）
⇒ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。
⇒ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

本機の運搬について

- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

本機の設置について

■ 屋外に設置しないでください

本機は、屋内で使用することを前提に設計されています。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所 : 内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（『使用環境条件』☞73 ページ）: ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く : 妨害を受ける場合があります。

■本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者、または販売店にご依頼ください

別売品の天つり金具が必要です。
品番 : ET-PKV100H（高天井用）、ET-PKV100S（低天井用）、
ET-PKL100B（取り付け用ベース金具）

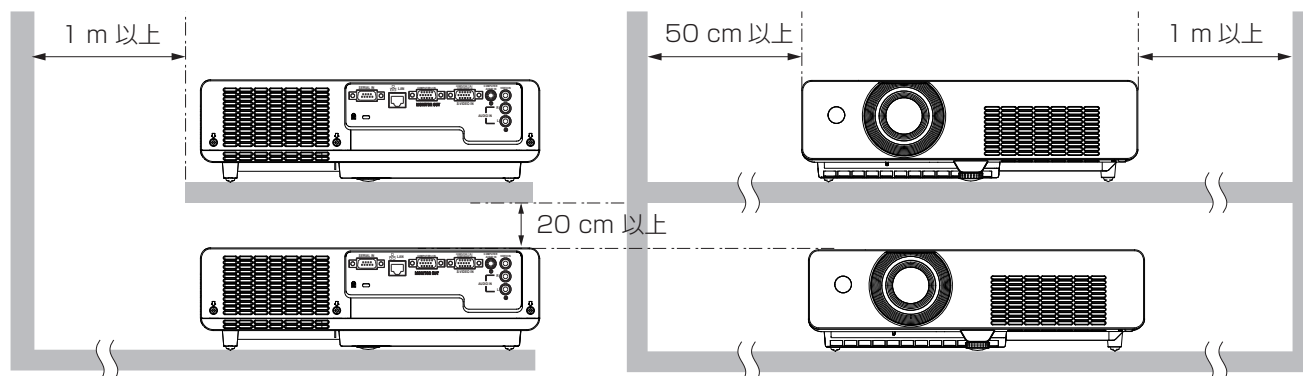
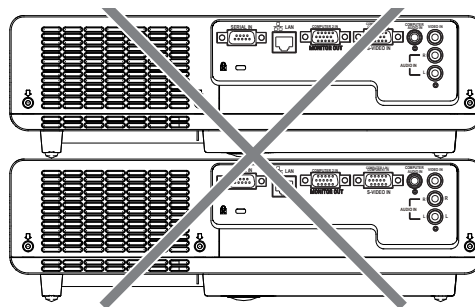
■ 海抜 2700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください（☞19 ページ）

上下方向に± 30 度を超えて傾けた状態で使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。

■ 設置上のご注意

- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気口・排気口に直接当たらないように設置をしてください。
- 本機底部の吸気口をふさがないように、プロジェクターの下に何もないことを確認してください。

- 本機を囲われた空間に設置しないでください。
  囲われた空間に設置が必要な場合は、別途空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。

セキュリティに関するお願い

■ 本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい。
- 悪意の第三者による本製品の不正操作。
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止。

■ セキュリティ対策を十分に行ってください。（☞54 ページ）

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。
ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

■美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入らないよう、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの環境を整えていただくと、より高いコントラストで美しい映像をご覧いただけます。
- 使用環境によっては排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風·冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。
  本体の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しない場合があります。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

■投写レンズ面は素手でさわらないでください

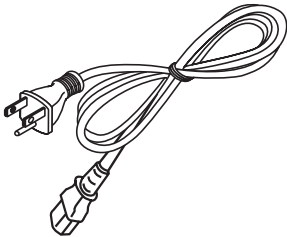
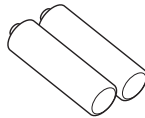
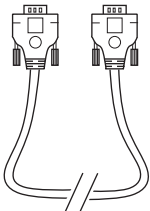
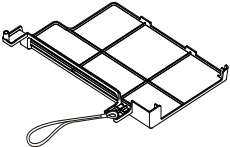
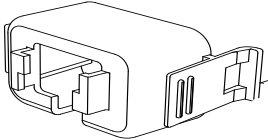
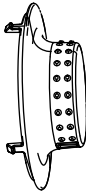
投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。

■液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
また、静止画を長時間投写すると、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますので、その場合は全白画面を 1 時間以上投写してください。なお、残像が完全に消えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■光学部品について

ご使用になる環境温度が高い場合や、ほこり、タバコなどの煙が多い環境下では、1 年未満のご使用でも、液晶パネルや偏光板などの光学部品の交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
高圧水銀ランプには下記の特性があります。

- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃や傷、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなばらつきがあります。特に 6 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「切」/「入」の繰り返しは、ランプの劣化を早め、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。交換時期がきたらランプユニットを交換してください。
  (『ランプユニットの交換時期』☞ 61 ページ)
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。〈 〉は個数です。

リモコンユニット〈1〉 (6451051677)	電源コード〈1〉 (6103580227)	CD-ROM〈1〉 (6103579740)	単4形乾電池〈2〉
			(リモコン用)

RGB ケーブル〈1〉 (6103580425)	フィルターカバー〈1〉 (6103593265)	電源コードホルダー〈1〉 (6451052124)	レンズキャップ〈1〉 (6103578101)

ストラップ〈1〉 (6103430249)	PIN code lock シール〈1〉

お願い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

■ CD-ROM の内容について

付属品の CD-ROM には、以下の内容が収録されています。 [●: 説明書 / 一覧表 (PDF). ○: ソフトウェア]

- ● **取扱説明書 － 本体操作編**
- ● **取扱説明書 － ネットワーク操作編**

○ **複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア (Windows)**
・LAN 接続された複数台のプロジェクターを監視・制御するソフトウェアです。

● **複数台プロジェクター監視制御ソフトウェアの操作説明書**

○ **ロゴ転送ソフトウェア (Windows)**
・スタート時に投写する会社ロゴマークなどユーザー独自の映像をプロジェクターに転送するソフトウェアです。

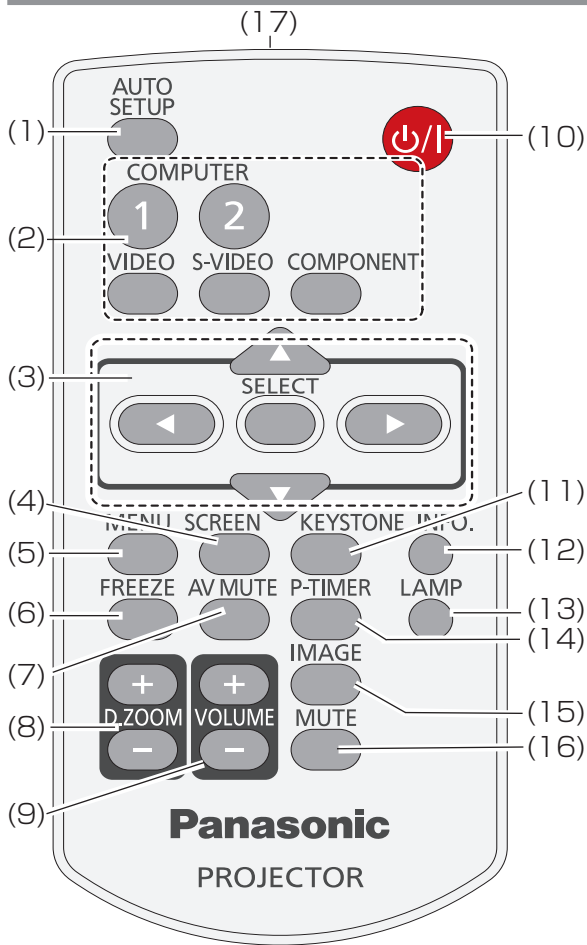
● **ロゴ転送ソフトウェアの操作説明書**

● **対応プロジェクター機種一覧表**
・○ 印のソフトウェアに対応するプロジェクターの機種、および制約事項の一覧です。

別売品

別売品（品名）	品番
天つり金具	ET-PKV100H（高天井用）、ET-PKV100S（低天井用）
天つり金具 (取付け用ベース金具)	ET-PKL100B
交換用ランプユニット	ET-LAL100
交換用フィルターユニット	ET-RFL100
D-SUB - S Video 変換ケーブル	ET-ADSV

各部の名称とはたらき

リモコン

(1)　〈AUTO SETUP〉ボタン
　設定メニューのオートセットアップを実行します。（☞50 ページ）

(2)　入力切換ボタン :〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、〈COMPONENT〉。
　投写する入力信号を切り換えます。（☞31 ページ）

(3)　▲▼◀▶ ボタン、〈SELECT〉ボタン
　メニュー画面の操作に使用します。（☞34 ページ）

(4)　〈SCREEN〉ボタン
　スクリーンモードを選択します。（☞46 ページ）

(5)　〈MENU〉ボタン
　メニュー画面を表示 / 非表示を切り換えます。（☞34 ページ）

(6)　〈FREEZE〉ボタン
　映像を一時的に静止させ、音声を消します。（☞32 ページ）

(7)　〈AV MUTE〉ボタン
　映像と音声を一時的に消したい場合に使用します。（☞32 ページ）

(8)　〈D.ZOOM +/-〉ボタン
　映像を拡大および縮小します。（☞33 ページ）

(9)　〈VOLUME +/-〉ボタン
　スピーカーの音量を調整します。（☞33 ページ）

(10)〈ON/STAND-BY〉ボタン
　プロジェクターの電源の「切」/「入」を切り換えます。（☞27 ページ）

(11)〈KEYSTONE〉ボタン
　台形歪みを補正します。（☞31 ページ）

(12)〈INFO.〉ボタン
　インフォメーション機能を操作します。（☞32 ページ）

(13)〈LAMP〉ボタン
　ランプモードを選択します。（☞33 ページ）

(14)〈P-TIMER〉ボタン
　プレゼンテーションタイマー機能を操作します。（☞33 ページ）

(15)〈IMAGE〉ボタン
　画質モードを選択します。（☞33 ページ）

(16)〈MUTE〉ボタン
　音声を一時的に消すことができます。（☞33 ページ）

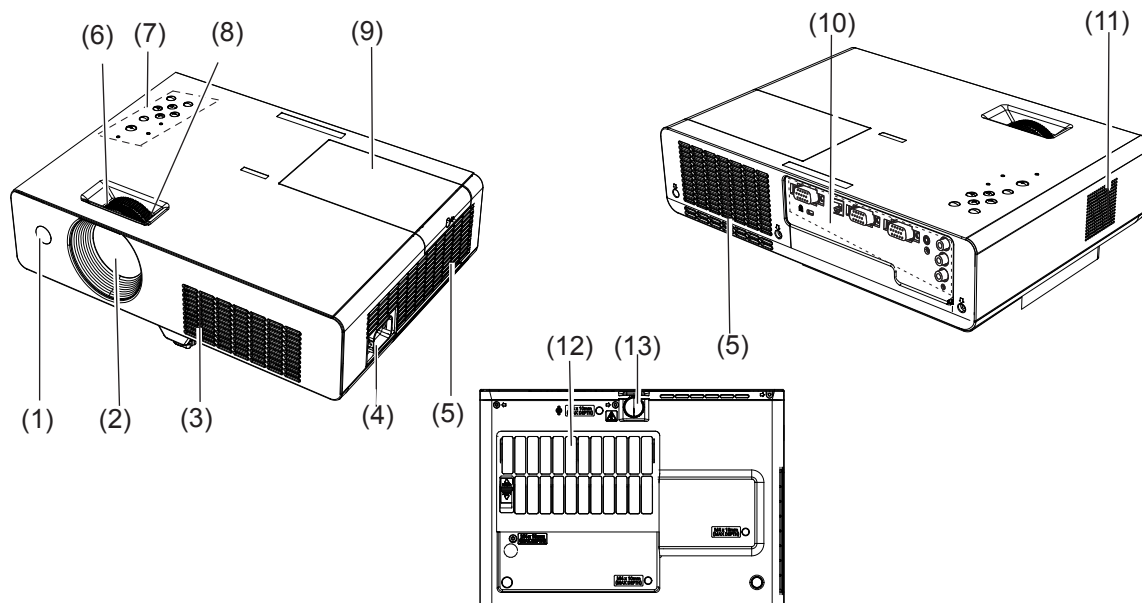
(17) リモコン発信部

お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。

お知らせ

- リモコンを直接本機のリモコン受光部に向けて操作する場合は、リモコン受光部正面より約 7 m 以内で操作してください。また、上下左右に± 30 度まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

本体

(1)　**リモコン受光部**

(2)　**投写レンズ**

(3)　**吸気口**

(4)　**AC 入力端子**

(5)　**排気口**
この排気口からは熱風が排出されます。排気口付近には熱に弱いものなどを置かないでください

(6)　**フォーカスリング**
フォーカスを調整します

(7)　**本体操作部 / インジケーター**（☞ 17 ページ）

(8)　**ズームリング**
ズームを調整します

(9)　**ランプカバー**（☞ 62 ページ）
内部にランプユニットがあります

(10)　**接続端子部**（☞ 17 ページ）

(11)　**スピーカー**

(12)　**吸気口 / エアフィルターカバー**（☞ 59 ページ）

(13)　**アジャスター脚**
投写角度を調整します

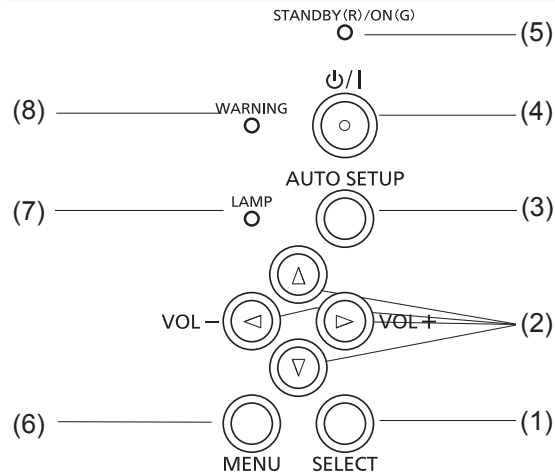
■ **排気口には手やものを近づけない**

禁止

- 手や顔を近づけない。
- 指を入れない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。

排気口からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。

*1：Kensington 社製セキュリティーケーブルについてのお問い合わせ先は、下記の通りです。
七陽商事株式会社　情報機器事業部
〒 103-0007　東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル　Tel：03-3663-7740　Fax：03-3669-2367
http://www.nanayojapan.co.jp/
＊: 連絡先は変更になる場合があります。ご了承ください。

本体操作部

(1)　〈SELECT〉ボタン
選択した項目を実行します。

(2)　▲▼◀▶ (VOL +/-) ボタン
メニュー画面の操作に使用します。

(3)　〈AUTO SETUP〉ボタン
設定メニューのオートセットアップを実行します。

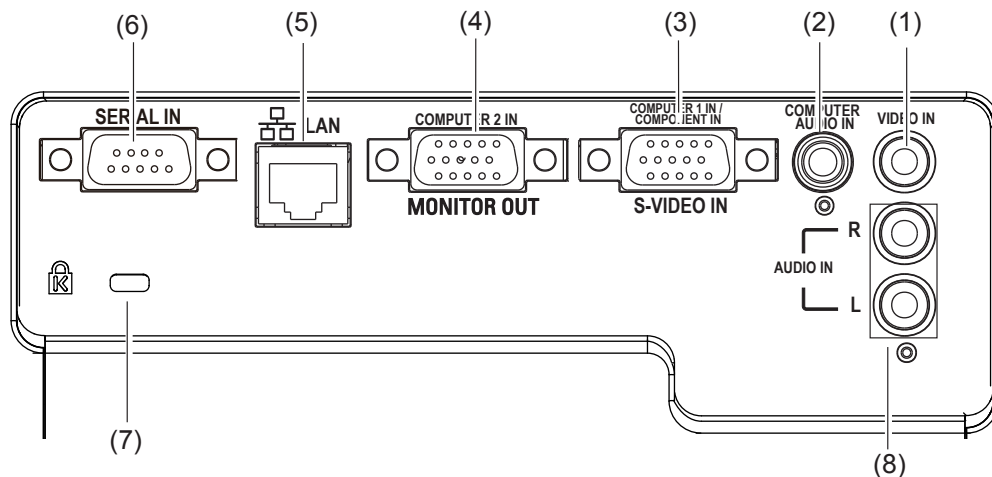
(4)　〈⏻/|〉ボタン
電源を「切」/「入」します。

(5)　〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーター
電源の接続状態を表示します。

(6)　〈MENU〉ボタン
メニュー画面を表示します。（☞34 ページ）

(7)　〈LAMP〉インジケーター
ランプユニットの交換時期をお知らせします。

(8)　〈WARNING〉インジケーター
プロジェクターの異常をお知らせします。

接続端子部

(1)　〈VIDEO IN〉端子
ビデオ信号を入力する端子です。

(2)　〈COMPUTER AUDIO IN 1〉端子
音声信号を入力する端子です。

(3)　〈COMPUTER IN 1/ COMPONENT IN/ S-VIDEO IN〉端子
RGB 信号、コンポーネント信号、または S ビデオ信号を入力する端子です。

(4)　〈COMPUTER IN 2/ MONITOR OUT〉端子
RGB 信号を入力する端子です。また、モニターへの RGB 出力端子も兼ねています。

(5)　〈LAN〉端子
ネットワークに接続する LAN 端子です。

(6)　〈SERIAL IN〉端子
コンピューターを接続して本機を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です。

(7)　セキュリティースロット
このセキュリティースロットは、Kensington 社製セキュリティーケーブル *1 に対応しています。(☞16 ページ)

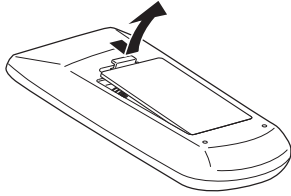
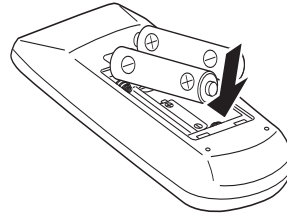
(8)　〈AUDIO IN〉端子
音声信号を入力する端子です。右入力（R）と左入力 (L) があります。

お願い

- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線を行ってください。

リモコンの使い方

電池を入れる、取り出す

1) ふたを開ける

2) 電池を入れ、ふたを閉じる
（マイナス「−」側から先に入れます。）

● 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。

はじめに

リモコンコードを指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々のリモコンコードを設定することにより、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。
本体のリモコンコードを設定したあと、同じリモコンコードをリモコンに指定してください。
リモコンコードは 7 種類（すべて、コード 1 ～ 6）あります。工場出荷時の リモコンコードは「すべて」です。

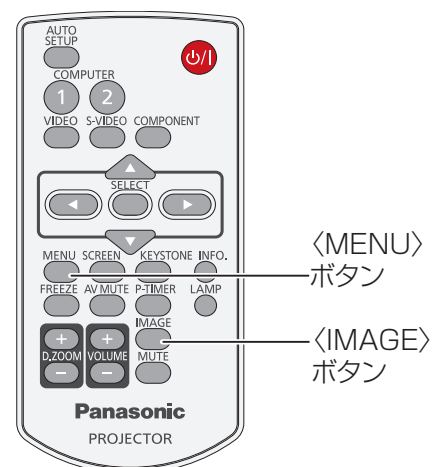
■設定方法

1)〈MENU〉ボタンを押しながら、〈IMAGE〉ボタンを押します。〈IMAGE〉ボタンを押した数が、リモコンコードの数字になります。
2) つまり、〈IMAGE〉ボタンを押す回数は、次の通りです。
コード 1 = 1 回、コード 2 = 2 回、コード 3 = 3 回、コード 4 = 4 回、
コード 5 = 5 回、コード 6 = 6 回
3)〈MENU〉ボタンを放すと、リモコンコード が変わります。
4)〈MENU〉ボタンと〈IMAGE〉ボタンを同時に押して、5 秒以上押し続けると、リモコンコードは［すべて］（デフォルト）にリセットされます。

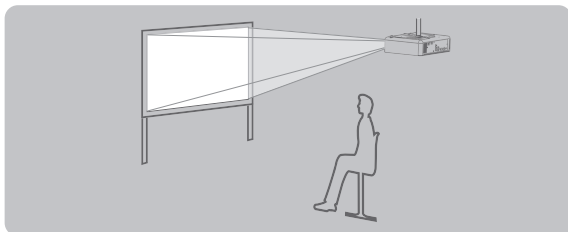
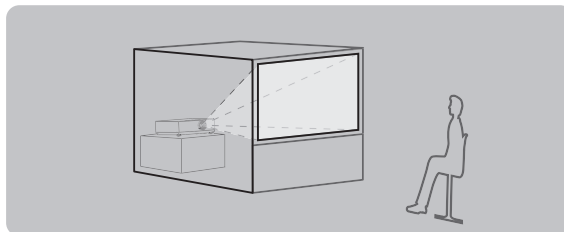
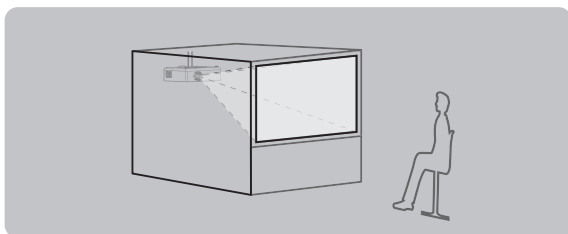
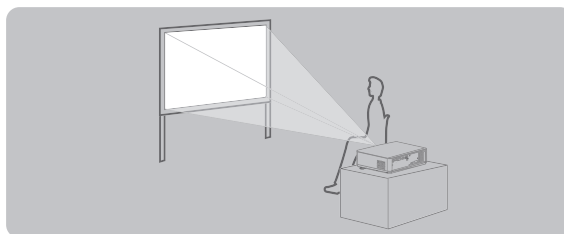
お願い

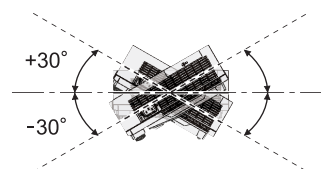
● 〈IMAGE〉ボタンを 7 回以上押すと、その操作は無効とみなされるため、リモコンコードを変更することはできません。
● リモコンの電池を交換すると、設定した リモコンコードは消去されます。電池を交換した場合は、同じリモコンコードを再度設定してください。

お知らせ

● 本体のリモコンコード設定は、『「設定」について』の『リモコンコード』（☞54 ページ）をご覧ください。

設置する

投写方式

本機は、4 通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

■天つり設置で前方に投写する場合	■床置き設置で後方から投写する場合 （透過式スクリーン使用）
■天つり設置で後方から投写する場合 （透過式スクリーン使用）	■床置き設置で前方に投写する場合

お願い

- 美しい映像をご覧いただくために、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。
- 本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機を傾けて設置する場合は、上下方向に± 30 度以内にしてください。
- 本機を上下方向に± 30 度を超えて傾けた状態で使用されると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。

設置オプションについて（別売品）

別売品のプロジェクター取り付け用ベース金具（品番 :ET-PKL100B）に､天つり金具 { 品番 : ET-PKV100H（高天井用）または、ET-PKV100S（低天井用）} を組み合わせて設置することができます。

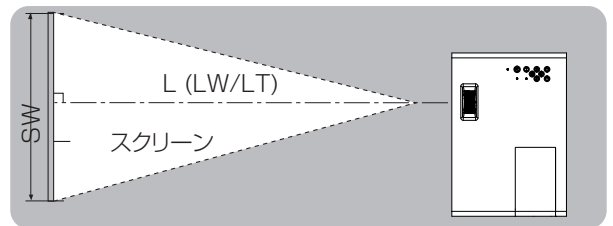
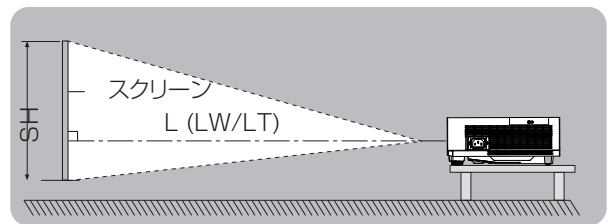
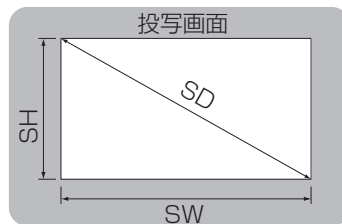
- 必ず、本機専用の天つり金具をご使用ください。
- 本機の取り付けおよび設置については、プロジェクター用天つり金具の工事説明書をご覧ください。

お願い

- プロジェクター用天つり金具の取り付け工事は、性能、安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。

準備

投写関係

本機の設置は、右図や投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーンサイズ、スクリーン位置に応じて画面サイズ、画面位置を調整することができます。

L (LW/LT) *1	投写距離 (m)
SH	画面の高さ (m)
SW	画面の幅 (m)
SD	画面対角サイズ (型)

*1：LW : 最短投写距離
LT : 最長投写距離

お願い

- 設置をする前に、「ご使用になる前に」（☞10 ～ 14 ページ）をお読みください。

■投写距離（PT-LW25H の場合）

（下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。）

投写画面サイズ	アスペクト 4:3 の場合		アスペクト 16:9 の場合		アスペクト 16:10 の場合	
対角 (SD)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)
30 型 (0.76 m)	1.1 m	1.3 m	1.0 m	1.2 m	0.9 m	1.1 m
40 型 (1.02 m)	1.5 m	1.8 m	1.3 m	1.6 m	1.3 m	1.5 m
50 型 (1.27 m)	1.9 m	2.2 m	1.6 m	2.0 m	1.6 m	1.9 m
60 型 (1.52 m)	2.2 m	2.7 m	2.0 m	2.4 m	1.9 m	2.3 m
70 型 (1.78 m)	2.6 m	3.1 m	2.3 m	2.8 m	2.2 m	2.7 m
80 型 (2.03 m)	3.0 m	3.6 m	2.6 m	3.2 m	2.6 m	3.1 m
90 型 (2.29 m)	3.4 m	4.0 m	3.0 m	3.5 m	2.9 m	3.5 m
100 型 (2.54 m)	3.7 m	4.5 m	3.3 m	3.9 m	3.2 m	3.8 m
120 型 (3.05 m)	4.5 m	5.4 m	3.9 m	4.7 m	3.8 m	4.6 m
150 型 (3.81 m)	5.6 m	6.7 m	4.9 m	5.9 m	4.8 m	5.8 m
200 型 (5.08 m)	7.5 m	9.0 m	6.6 m	7.9 m	6.4 m	7.7 m
250 型 (6.35 m)	9.4 m	– *2	8.3 m	9.9 m	8.0 m	9.6 m
300 型 (7.62 m)	– *2	– *2	9.9 m	– *2	9.6 m	– *2

上記の表以外の投写寸法は、投写画面サイズ SD (型) から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値には若干の誤差があります。）

投写画面サイズを SD とした場合、

	アスペクト 4:3 の場合	アスペクト 16:9 の場合	アスペクト 16:10 の場合
投写画面サイズ　高さ (SH)	= SD × 0.6	= SD × 0.490	= SD × 0.530
投写画面サイズ　幅 (SW)	= SD × 0.8	= SD × 0.872	= SD × 0.848
最短投写距離 (LW)	= 0.0375 × SD – 0.0233	= 0.0331 × SD – 0.0233	= 0.0322 × SD – 0.0233
最長投写距離 (LT)	= 0.0449 × SD – 0.0237	= 0.0397 × SD – 0.0237	= 0.0386 × SD – 0.0237

*2： 投写距離は 11m 以内でご使用ください。

■投写距離（PT-LX26H の場合）

（下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。）

投写画面サイズ	アスペクト比が 4:3 の場合		アスペクト比が 16:9 の場合	
対角 (SD)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)
30 型 (0.76 m)	1.0 m	1.2 m	1.1 m	1.3 m
40 型 (1.02 m)	1.4 m	1.6 m	1.5 m	1.8 m
50 型 (1.27 m)	1.7 m	2.0 m	1.9 m	2.2 m
60 型 (1.52 m)	2.0 m	2.5 m	2.2 m	2.7 m
70 型 (1.78 m)	2.4 m	2.9 m	2.6 m	3.1 m
80 型 (2.03 m)	2.7 m	3.3 m	3.0 m	3.6 m
90 型 (2.29 m)	3.1 m	3.7 m	3.4 m	4.0 m
100 型 (2.54 m)	3.4 m	4.1 m	3.7 m	4.5 m
120 型 (3.05 m)	4.1 m	4.9 m	4.5 m	5.4 m
150 型 (3.81 m)	5.2 m	6.2 m	5.6 m	6.7 m
200 型 (5.08 m)	6.9 m	8.3 m	7.5 m	9.0 m
250 型 (6.35 m)	8.6 m	10.3 m	9.4 m	– *2
300 型 (7.62 m)	10.3 m	– *2	– *2	– *2

上記の表以外の投写寸法は、投写画面サイズ SD (型) から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値には若干の誤差があります。）

投写画面サイズを SD とした場合、

	アスペクト 4:3 の場合	アスペクト 16:9 の場合
投写画面サイズ　高さ (SH)	= SD × 0.6	= SD × 0.490
投写画面サイズ　幅 (SW)	= SD × 0.8	= SD × 0.872
最短投写距離 (LW)	= 0.0345 × SD − 0.0233	= 0.0376 × SD − 0.0233
最長投写距離 (LT)	= 0.0414 × SD − 0.0237	= 0.0451 × SD − 0.0237

*2 : 投写距離は 11m 以内でご使用ください。

■投写距離（PT-LX30H の場合）

（下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。）

投写画面サイズ	アスペクト比が 4:3 の場合		アスペクト比が 16:9 の場合	
対角 (SD)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)
30 型 (0.76 m)	0.9 m	1.1 m	1.0 m	1.2 m
40 型 (1.02 m)	1.2 m	1.4 m	1.3 m	1.6 m
50 型 (1.27 m)	1.5 m	1.8 m	1.6 m	2.0 m
60 型 (1.52 m)	1.8 m	2.2 m	2.0 m	2.4 m
70 型 (1.78 m)	2.1 m	2.5 m	2.3 m	2.8 m
80 型 (2.03 m)	2.4 m	2.9 m	2.6 m	3.2 m
90 型 (2.29 m)	2.7 m	3.3 m	2.9 m	3.5 m
100 型 (2.54 m)	3.0 m	3.6 m	3.3 m	3.9 m
120 型 (3.05 m)	3.6 m	4.3 m	3.9 m	4.7 m
150 型 (3.81 m)	4.5 m	5.4 m	4.9 m	5.9 m
200 型 (5.08 m)	6.0 m	7.3 m	6.6 m	7.9 m
250 型 (6.35 m)	7.6 m	9.1 m	8.2 m	9.9 m
300 型 (7.62 m)	9.1 m	10.9 m	9.9 m	– *2

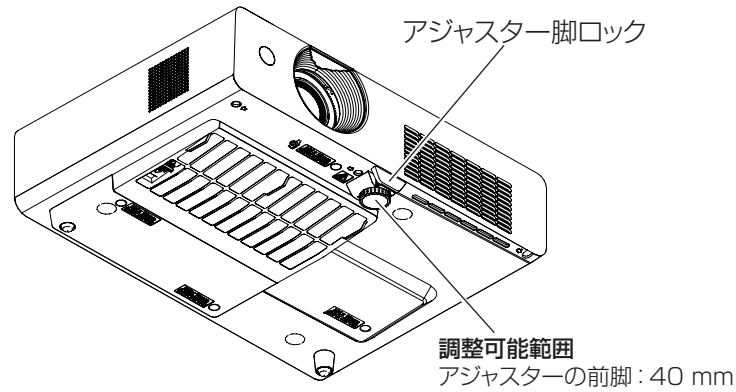
上記の表以外の投写寸法は、投写画面サイズ SD (型) から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値には若干の誤差があります。）

投写画面サイズを SD とした場合、

	アスペクト 4:3 の場合	アスペクト 16:9 の場合
投写画面サイズ　高さ (SH)	= SD × 0.6	= SD × 0.490
投写画面サイズ　幅 (SW)	= SD × 0.8	= SD × 0.872
最短投写距離 (LW)	= 0.0303 × SD − 0.0233	= 0.0330 × SD − 0.0233
最長投写距離 (LT)	= 0.0364 × SD − 0.0237	= 0.0397 × SD − 0.0237

*2： 投写距離は 11m 以内でご使用ください。

アジャスター脚の調整

本体前方を持ち上げてから、アジャスター脚ロックを指で押してアジャスター脚を伸ばし、指を離してアジャスター脚をロックします。また、図のように、アジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと元に戻すことができます。（上下に投写角度を調整することができます。）

お願い

- ランプ点灯中は、排気口から熱風がでています。アジャスター脚を調整するときは、排気口に直接手を触れないでください。
- 投写画面に台形歪みが発生している場合は、「スクリーン」メニューの「台形補正」で補正してください。（☞47 ページ）

お知らせ

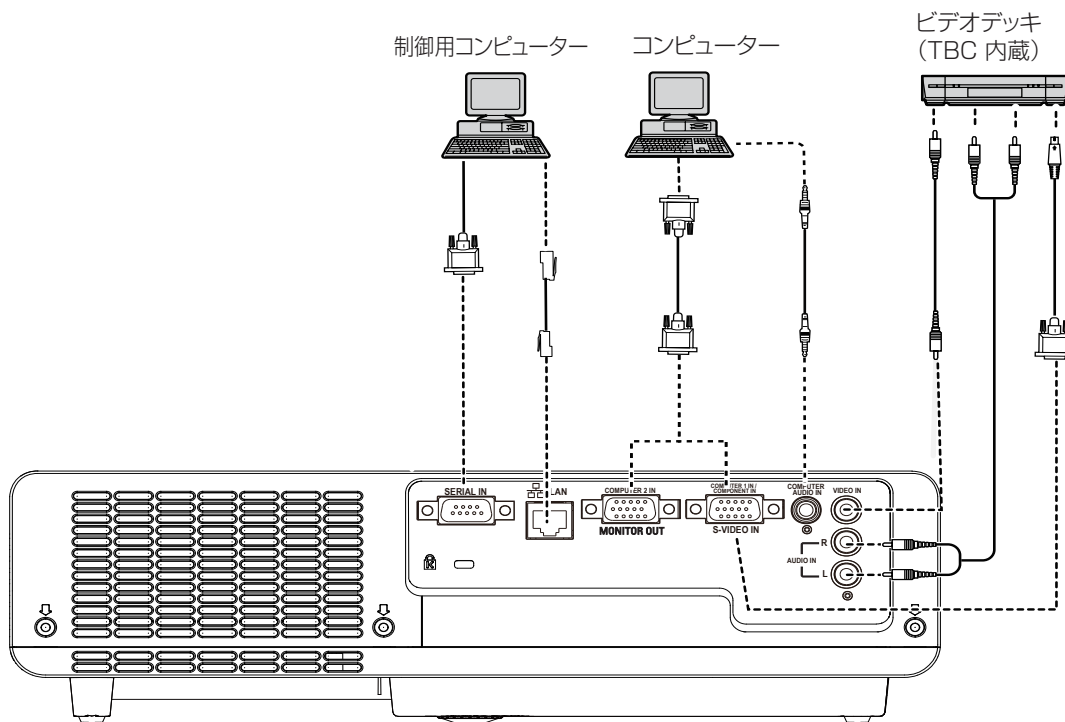
- アジャスター脚は締め付け方向にカチッという音がするまで締め付けると、締め付けが完了します。

接続する

接続の前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、映像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号は、ビデオ信号、Sビデオ信号、アナログ RGB 信号（同期信号は TTL レベル）です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないことがあります。
- 各機器と本機を長いケーブルを使用して接続する場合、ケーブル補償器などを使用しないと正常に出画できないことがあります。
- 本機が対応する映像信号については、「対応信号リスト」をご覧ください。（☞ 69 ～ 71 ページ）

準
備

接続例

お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ずタイムベースコレクター (TBC) 内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター (TBC) を使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れることがあります。その場合は、本機との間にタイムベースコレクター (TBC) を接続してください。

お知らせ

- 本機が投写できるコンピューター からの RGB 信号は、「対応信号リスト」をご覧ください。（☞ 69 ～ 71 ページ）
- 本機とコンピューターを有線 LAN を介して接続する際の詳細は、付属 CD-ROM の『取扱説明書 ネットワーク操作編』をご覧ください。

電源を入れる / 切る

電源コードの接続

電源コードの抜けを防止するため、付属の電源コードホルダーを使用して、本体に根元まで確実に差し込んで固定してください。

■ 電源コードホルダー

電源コードホルダーは、電源コードが本体から不用意に抜けないようにするためのものです。
図 (1) のように、電源コードホルダーを電源コードのプラグ部分に取り付けてください。

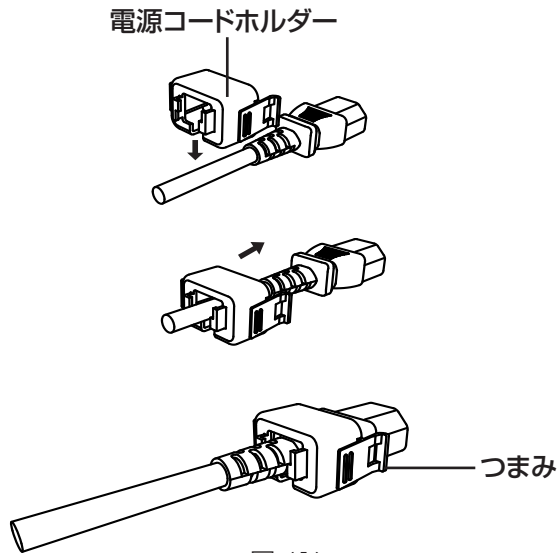



図 (1)

■ 取り付け方

図 (2) のように、電源コードホルダーの左右のつまみを押しながら、本体に差し込みます。正確に差し込むと、左右のつめが引っ掛かり「カチッ」という音がして、図 (3) のようになります。

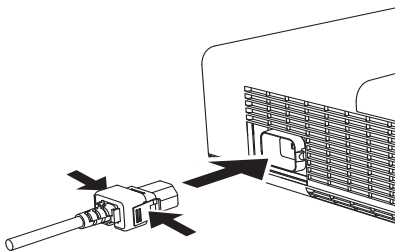
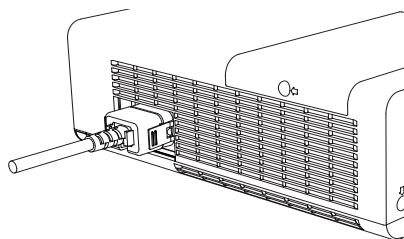
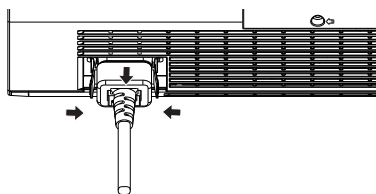



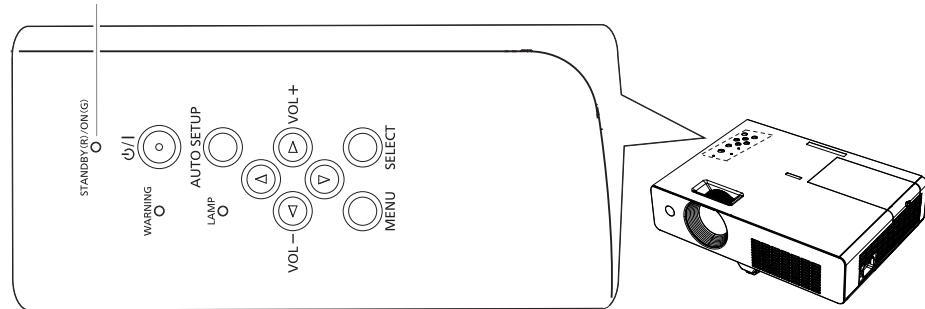
図 (2)　　図 (3)

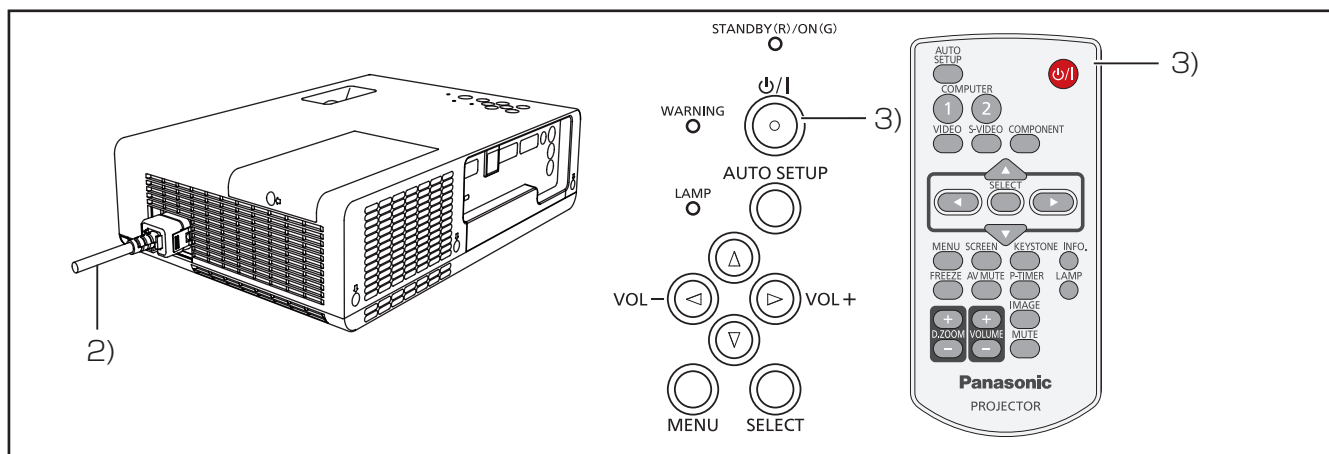
■ 取り外し方

電源コードホルダーの左右のつまみを押しながら、本体から引き抜きます。

基本的な使い方

〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターについて

電源の状態を表示します。〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターの状態をよく確認し、操作してください。

〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーター

点灯状況		本機の状態
消灯		電源コードが差し込まれていません。
赤色	点灯	電源コードが差し込まれています。
		本機は冷却が完了した後にスタンバイ状態になっています。
	点滅	通常の電源オフ手順によるファン冷却が完了し、〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターの点滅が止まるまで、本機を操作することはできません。
		本体内部の温度が異常に高くなっています。このとき、〈WARNING〉インジケーターも赤色点滅します。（☞58 ページ） 温度が下がり、〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターの点滅が止まるまで、本機を操作することはできません。
緑色	点灯	投写状態です。
	点滅	パワーマネージメントモードであることを示します。

電源を入れる

1) 本体の電源を入れる前に、コンピューターやビデオなどの外部機器の接続を完了させます。

2) 本体の電源コードをコンセントに接続します。〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターが赤色に点灯します。レンズキャップをはずします。

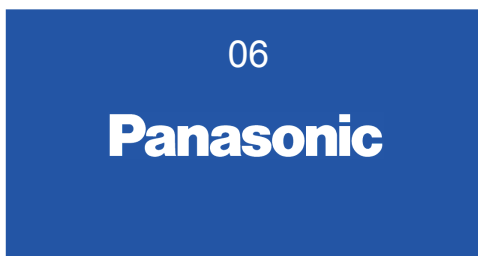
3) 本体操作部またはリモコンの〈ON/STAND-BY〉ボタンを押します。〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターが緑色に点灯して、冷却ファンの回転が始まります。スクリーンに準備画面が表示され、カウントダウンが始まります。

4) カウントダウン後、前回使用時に選択した入力モードとランプパワーの状態がスクリーンに表示されます。

5) 電源を入れたときに入力信号がない場合や本体を操作中に信号が途絶えた場合には、ビデオ / コンピューター選択画面がスクリーンに表示されます。そのような場合には、▲▼ を押して適切な入力モードにポインターを移動し、〈SELECT〉ボタンを押します。続いて、入力信号の確認画面に従い、入力信号と接続状態を確認します。

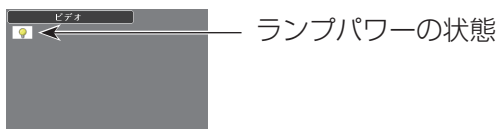
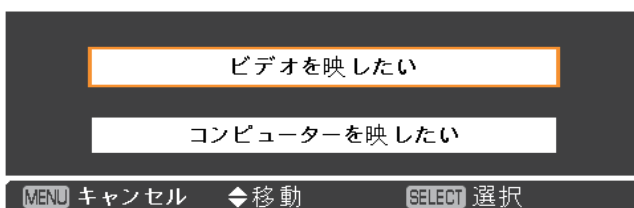
暗証番号でロックされている場合には、暗証番号の入力画面が表示されます。次のページに示された手順に従い、暗証番号を入力します。

06

Panasonic

電源を入れてから 30 秒間準備画面が表示されます。

選択中の入力元およびランプ制御

ビデオ

ランプパワーの状態

ビデオ/コンピューター選択画面

お知らせ

- ［ロゴ選択］機能がオフになっていると、準備画面のカウントダウンは表示されますがロゴは表示されません。（☞51 ページ）
- ［オンスクリーン表示］機能の［カウントダウン オフ］または［オフ］を選択している場合は、準備画面は表示されません。（☞51 ページ）
- ［自動入力切換］機能が［オン 2］になっていると、入力信号の自動検出が行われます。（☞50 ページ）
- ［ダイレクトオン］機能が オン に設定されている場合、コンセントに電源コードを接続すると同時に自動的に電源が入ります。（☞52 ページ）

暗証番号を入力する

▲▼ ボタンを使用して、数字を選択します。▶ ボタンを押して、数字を確定し、次のボックスに赤枠ポインターを移動します。確定した数字は「＊」という表示になります。数字を間違えた場合は、◀ ボタンを使用して、修正したいところに赤枠ポインターを戻し、正確な数字を入力します。

このステップを繰り返して、4 桁すべてを入力します。

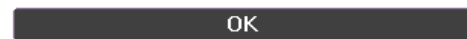
4 桁の入力が完了したら、ポインターを [セット] に移動します。〈SELECT〉ボタンを押すと暗証番号の入力が完了し、本機の操作を開始できます。

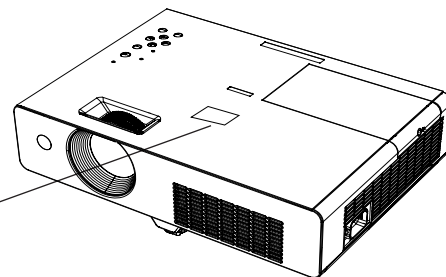
誤った暗証番号を入力すると、番号が (＊＊＊＊) 赤色になります。その場合には、暗証番号を最初から入力し直してください。

暗証番号入力画面

[OK] アイコンが表示されたら、本機の操作を開始できます。

お知らせ

- 暗証番号入力画面が表示されてから 3 分以内に暗証番号の入力がない場合や、正しい番号を入力し直さなければ、自動的に本機の電源がオフになります。
- 初期設定の暗証番号は、「1234」です。

暗証番号登録中を知らせるシール

暗証番号でプロジェクターがロックされているとき、プロジェクター本体の目のつきやすい所に下のシールを貼り付けます。

電源を切る

1) 本体操作部の〈⏻/|〉ボタンまたはリモコン〈ON/STAND-BY〉ボタンを押すと、「**もう1度押すと電源が切れます**」というメッセージが表示されます。

もう1 度押すと電源が切れます

4 秒間「**もう1度押すと電源が切れます**」というメッセージが表示されます。

2) もう 1 度、〈⏻/|〉ボタンを押すと、電源が切れます。〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターが赤色で点滅します。冷却ファンはそのまま回転し続けます。この状態で、冷却ファンは回転した状態ですが、電源コードを抜くことができます。

3) 本体の温度が十分に下がり、〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターの点滅が止まると、本体の電源を入れることができます。

お知らせ

- 本体の温度が十分に下がるまで、本機を箱などに入れないでください。
- 〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターが点滅している間は、ランプの冷却が行われているため、本機の電源を入れることはできません。再び本機の電源を入れる場合は、〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターの点滅が止まるまでお待ちください。
- 〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターが赤色点灯になったら、本機の電源を入れることができます。電源を切ってから直ぐに電源コードを抜いた場合に比べると、正規の手順で電源を切ってファン冷却を行った場合の方が、再び電源を入れたときの待機時間が短くなります。

■ ダイレクトパワーオフ機能

投写中であっても、電源コードを抜いたり、電源ブレーカーにより電源を切ることができます。

お知らせ

- 電源ブレーカーまたは電源コードをコンセントから抜いて電源を落とした場合、すぐに本機の電源を入れ直すことはできません。高温になっているランプを冷ます必要があり、再び電源を入れたときに、ランプが点灯するまでに多少の時間がかかります。

投写する

外部機器の接続および電源コードの接続（☞25 ページ）を確認し、電源を入れる（☞27 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

映像の入力を切り換えます。
リモコンの〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、〈COMPONENT〉ボタンで選択した映像が投写されます。（☞31 ページ）

お願い

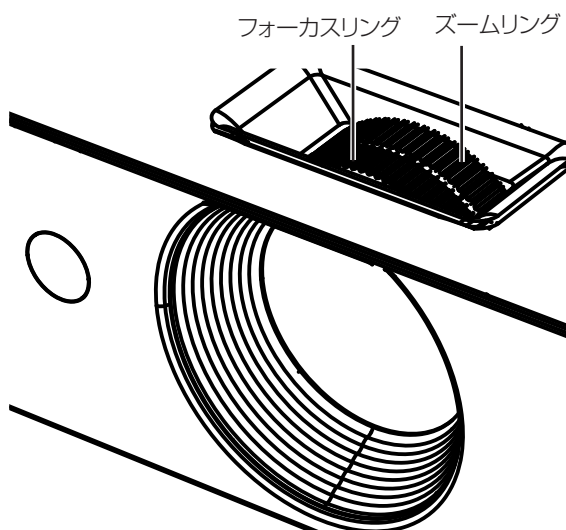
- 接続機器や再生する DVD やビデオテープによっては、正常に映像が映らないことがあります。[入力」メニューの「Component」、「S-video」、「ビデオ」（☞37 ページ）で入力信号に合ったシステム方式に設定してください。
- 投写するスクリーンと映像の縦横比を確認し、「スクリーン」メニュー（☞46 ページ）から最適な縦横比に切り換えてください。

映像の映り具合を調整する

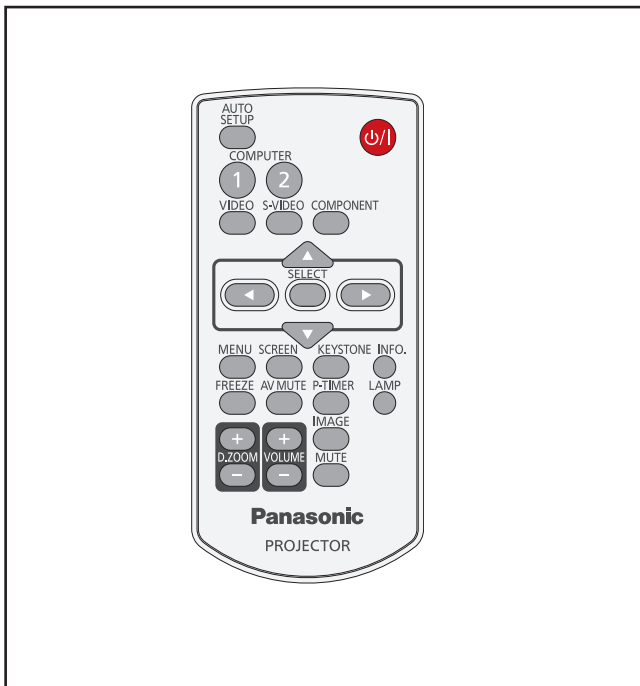
1） 投写角度を調整する

- 詳しくは「アジャスター脚の調整」をご覧ください。（☞23 ページ）

2） ズームとフォーカスを調整する

[ズームリング] と [フォーカスリング] を回して映像を調整します。

お知らせ

- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- 「フォーカスリング」を回すと投写サイズが変わるため「ズームレバー」を回して、再度投写サイズを微調整してください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「スクリーン」メニューの「台形補正」（☞47 ページ）を行ってください。

リモコンで操作する

オートセットアップ機能を使う

このボタンを押すと、[自動入力切換]（コンピューターからのアナログRGB信号入力時）、[自動台形補正]、[自動 PC 調整] を自動調整することができます。

ボタン

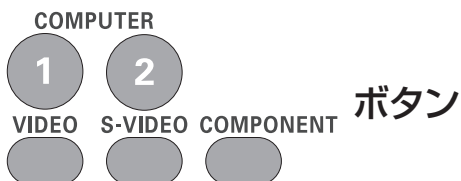
リモコンの〈AUTO SETUP〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「メインメニューについて」の「オートセットアップ」をご覧ください。（☞50 ページ）

入力信号を切り換える

このボタンを押すと、入力信号を切り換えることができます。

ボタン

リモコンの〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、〈COMPONENT〉ボタンを選択する

COMPUTER 1	コンピューター 1 (RGB)/ コンピューター 1 (Scart) に切り換えます。
COMPUTER 2	コンピューター 2 (RGB) に切り換えます。
VIDEO	ビデオ入力に切り換えます。
S-VIDEO	コンピューター 1 (S-video) に切り換えます。
COMPONENT	コンピューター 1 (Component) に切り換えます。

〈SCREEN〉ボタン

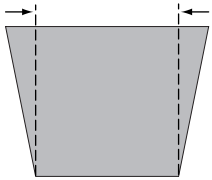
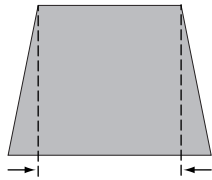
このボタンを押すと、スクリーンモードを選択したり、スクリーンサイズを変更することができます。

ボタン

リモコンの〈SCREEN〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「スクリーンについて」をご覧ください。（☞46 ページ）

〈KEYSTONE〉ボタン

このボタンを押すと、台形歪みを補正することができます。

ボタン

〈AUTO SETUP〉ボタンを押しても投写映像に台形ひずみがある場合は、以下の手順に従い手動で補正します。

リモコンの〈KEYSTONE〉ボタンを押します。台形補正画面が表示されます。▲▼を押して台形歪みを補正します。台形補正の情報は保存できます。
（☞47 ページ）

基本的な使い方

操作	画面の状態
▲ を押すと、台形の上部を補正できます。	
▼ を押すと、台形の底部を補正できます。	

お知らせ

- 白の矢印は、補正されていないことを示します。
- 赤の矢印は、その方向に補正されていることを示します。
- 台形補正の限界までくるとその方向の矢印が消えます。
- 台形補正画面が表示されているときに、リモコンの〈KEYSTONE〉ボタンをもう 1 度押すと、台形補正前の状態に戻ります。（☞47 ページ）
- 入力信号により補正可能な範囲が変わることがあります。

〈INFO.〉ボタン

このボタンを押すと、インフォメーションメニューを表示することができます。

ボタン

リモコンの〈INFO.〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「インフォメーションについて」をご覧ください。（☞57 ページ）

静止機能を使う

このボタンを押すと、外部機器の再生中であっても、一時的に映像を静止させ、消音することができます。

ボタン

このボタンを押すと、一時的に投写映像が静止し、音声も消えます。静止機能を中止するには、〈FREEZE〉ボタンをもう一度押すか、またはリモコン内の任意のボタンを押します。

静止中は、図 1 のアイコンが表示されます。

図 1

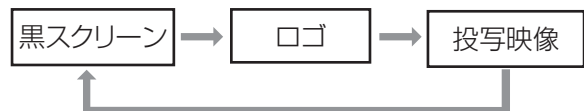
AV ミュート機能を使う

ボタン

このボタンを押すと、映像と音声を一時的に消すことができます。元に戻すには、〈AV MUTE〉ボタンをもう一度押すか、または、リモコン内の任意のボタンを押します。

- ロゴが設定されていない場合は、〈AV MUTE〉ボタンを押す度に、次の順番で切り換わります。

黒スクリーン
投写映像

- 付属の CD-ROM に収録されている「ロゴ転送ソフトウェア」を使用すると、コンピューターからプロジェクターにロゴを送ることができます。ロゴ選択（☞51 ページ）で [ユーザー] として設定すると、〈AV MUTE〉ボタンを押す度に、次の順番でロゴがスクリーンに投写されます（ロゴはユーザー定義可能）。

お知らせ

- 〈MUTE〉ボタンを使用して AV ミュート機能を解除すると、音声ミュートが解除され音声が出てきます。

〈P-TIMER〉ボタン

このボタンを押すと、カウントアップ / カウントダウン機能を使用できます。

ボタン

リモコンの〈P-TIMER〉ボタンを押す

お知らせ
- 時間のカウントを停止するには、〈P-TIMER〉ボタンを押します。プレゼンテーションタイマー機能を中止するには、〈P-TIMER〉ボタンを長押しします。（☞53 ページ）

〈LAMP〉ボタン

このボタンを押すと、ランプパワーモードを選択して、スクリーンの明るさを変えることができます。

ボタン

リモコンの〈LAMP〉ボタンを押す

お知らせ
- 詳しくは [設定] メニューの [ランプパワー] をご覧ください。（☞54 ページ）

〈D.ZOOM〉ボタン

デジタルズーム の +/- モードを切り換えることができます。

ボタン

リモコンの〈D.ZOOM+/-〉（▲/▼）ボタンを押す

お知らせ
- 詳しくは「スクリーンについて」の「デジタルズーム+ / −」をご覧ください。（☞47 ページ）

〈VOLUME〉ボタン

内蔵スピーカーの音量を調整できます。

ボタン

本体操作部またはリモコンの〈VOLUME+/–〉ボタンを押して、音量を調整します。しばらくの間、スクリーンに音量調整画面が表示されます。

お知らせ
- 詳しくは「サウンドについて」の「音量」をご覧ください。（☞49 ページ）

〈IMAGE〉ボタン

このボタンを押すと、画質モードを選択できます。

ボタン

〈IMAGE〉ボタンを押して、[ダイナミック]、[標準]、[リアル]、[シネマ]、[黒 (緑) 板]、[カラーボード]、[イメージ 1]、[イメージ 2]、[イメージ 3]、[イメージ 4] のいずれかのモードを選択します。

〈MUTE〉ボタン

このボタンを押して、[オン] を選択すると、一時的に音声を消すことができます。

ボタン

リモコンの〈MUTE〉ボタンを押す

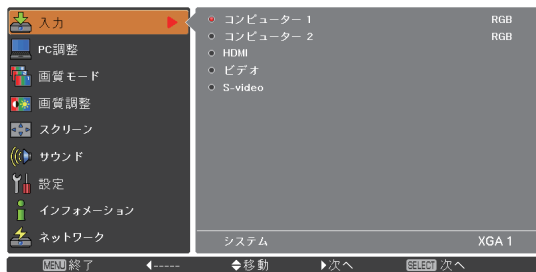
お知らせ
- 音声ミュートを解除するには、もう一度このボタンを押して、[オフ] 選択するか、または〈VOLUME+/-〉ボタンを押します。（☞49 ページ）

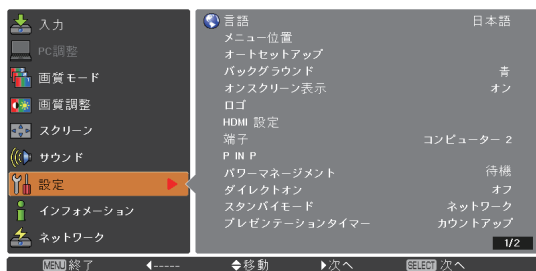
メニュー操作

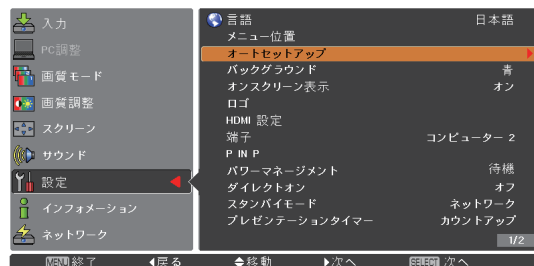
メニュー画面の操作方法

■操作の手順

1) 〈MENU〉ボタンを押す

メインメニュー画面が表示されます。

2) ▲▼ ボタンで、変更したい項目を選択する

[入力]、[PC 調整]、[画質モード]、[画質調整]、[スクリーン]、[サウンド]、[設定]、[インフォメーション]、および [ネットワーク] の 9 項目から、調整したい項目を選択します。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで表示され、その項目のサブメニューが右側に表示されます。

3) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押す

サブメニューの項目が選択できるようになります。

4) ▲▼ ボタンで、変更したいサブメニューの項目を選択する

5) 〈SELECT〉ボタンまたは ▶ を押して、変更したい項目を表示する

6) ▲▼ ◀▶ ボタンで、設定の切り換えや調整を行う

7) ◀ ボタンで一つ前のメニューに戻り、〈MENU〉ボタンを押して、メインメニューを閉じる

お知らせ

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色で表示され、その項目は選択できません。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できる項目があります。
- サブメニューの詳細は、35 および 36 ページをご覧ください。

メインメニュー

メインメニューには以下の 9 項目があります。
メインメニューの項目を選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

	入力
	PC 調整
	画質モード
	画質調整
	スクリーン
	サウンド
	設定
	インフォメーション
	ネットワーク

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニュー項目が表示され、各項目の設定または調整ができます。

■入力 [ ]

サブメニュー項目	初期設定	ページ
コンピューター 1	RGB	37
コンピューター 2	RGB	37
ビデオ	-	37

■PC 調整 [ ]

サブメニュー項目	初期設定	ページ
自動 PC 調整	-	39
トラッキング	-	40
総ドット数	-	40
水平位置	-	40
垂直位置	-	40
コンピューター情報	-	41
クランプ	-	41
画面領域 H	-	41
画面領域 V	-	41
リセット	-	41
データ消去	-	41
メモリー	-	41

お知らせ
- これらの機能は、入力モードがコンピューターの場合に利用できます。

■画質モード [ ]

サブメニュー項目	初期設定	ページ
ダイナミック	-	42
標準	-	42
リアル	-	42
シネマ	-	42
黒 (緑) 板	-	42
カラーボード	赤	42
イメージ 1-4	-	42

画質調整 [ ]

サブメニュー項目	初期設定	ページ
コントラスト	32	43
明るさ	32	43
色の濃さ *1	32	43
色合い *1	32	43
アイリス	-	43
色温度	中	44
赤	32	44
緑	32	44
青	32	44
画質	8	44
ガンマ補正	8	44
ノイズリダクション *1	L1	45
プログレッシブ *1	L1	45
リセット	-	45
メモリー	-	45

*1： ビデオ系信号をプロジェクターに入力する際に利用できる機能です。

■スクリーン [ ]

サブメニュー項目	初期設定	ページ
ノーマル	-	46
フル	-	46
ワイド (16:9)	-	46
ズーム	-	46
リアル *1	-	46
ピッタリワイド *2	-	46
カスタム	-	46
カスタム調整	-	47
デジタル ズーム ＋ *1	-	47
デジタル ズーム - *1	-	47
台形補正	メモリー	47
天つり	オフ	48
リア投映	オフ	48
スクリーンアスペクト *2	初期設定 (16:10)	48
リセット	-	48

*1： コンピューター信号をプロジェクターに入力する際に利用できる機能です。
*2： PT-LW25H のみ。

■サウンド [ ]

サブメニュー項目	初期設定	ページ
音量	15	49
消音	オフ	49

■設定 [ ]

サブメニュー項目	初期設定	ページ
言語	日本語	50
メニュー位置	中央	50
オートセットアップ	-	50
バックグラウンド	青	51
オンスクリーン表示	オン	51
ロゴ	-	51
端子	コンピューター 2	52
パワーマネージメント	シャットダウン	52
ダイレクトオン	オフ	52
スタンバイモード	エコ	52
プレゼンテーションタイマー	カウントアップ	53
クローズドキャプション	オフ	53
ランプパワー	ノーマル	54
リモコンコード	すべて	54
セキュリティ	オフ	54
ファン	L2	55
ファン制御	オフ	55
映像遅延制御	オフ	55
フィルターカウンター	-	56
警告履歴	-	56
AMX D.D.	オフ	56
初期設定	-	56

■インフォメーション [ ]

サブメニュー項目	初期設定	ページ
入力	-	57
システム	-	57
水平周波数	-	57
垂直周波数	-	57
スクリーン	-	57
言語	-	57
ランプパワー	-	57
ランプ使用時間	-	57
パワーマネージメント	-	57
キーロック	-	57
暗証番号ロック	-	57
リモコンコード	-	57
シリアル番号	-	57

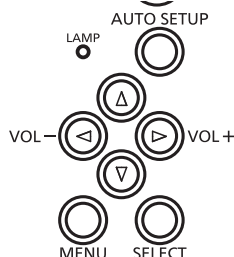
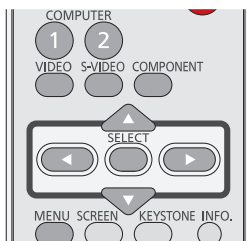
■ネットワーク [ ]

『取扱説明書 ネットワーク操作編』をご覧ください。

「入力」について

メインメニューの [入力] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」☞ 34 ページ）。

リモコン

本体操作部

コンピューター 1：RGB / Component / RGB(Scart)/ S-video

1）▲▼ を押して、[コンピューター 1] を選択する

2）▶ を押して、サブメニューに移る

3）▲▼ を押して、[Component] [RGB(Scart)] または [S-video] を選択する

4）〈SELECT〉ボタンを押す

- [コンピューター 1] を選択した場合は、[Component] [RGB(Scart)] または [S-video] のいずれかを選択できます。

コンピューター 2：RGB

▲▼ を押して、[コンピューター 2 (RGB)] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

■コンピューターシステムの選択

本機は自動的にマルチスキャンシステムおよび自動PC調整機能により、いろいろなタイプのコンピューターに対応します。コンピューターが信号源として選択されると、プロジェクターは自動的に信号フォーマットを検出し、特別な操作をせずに適切な映像が投写されます。（本機の対応信号については69〜71ページをご覧ください。）

Auto	接続している コンピューター からの信号を本機が認識できない場合には、システムメニュー欄に [Auto] と表示され、PC調整機能により適切な映像が投写されます。映像が適切に投写されない場合は、手動で調整する必要があります。
- - - -	コンピューターからの信号が無いことを示します。コンピューターと本機との接続を確認してください。
モード 1	モードの設定は、PC調整メニューから手動で行います。調整データは、モード 1〜10 に保存できます。
SVGA 1	本機で対応している PC システムが表示されます。

* **モード 1** と **SVGA 1** は一例です。

1）▲▼ を押して、[システム] を選択する

2）▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る

3）▲▼ を押して、適切なシステムを選択する

ビデオ

▲▼ を押して、[ビデオ] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

■ビデオシステムの選択

ビデオまたは S-video

Auto

入力されたビデオ信号のカラー方式を本機が自動で対応します。
カラー方式が PAL-M または PAL-N の場合は、システムを手動で選択してください。

PAL/SECAM/NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N

適切なビデオ映像が投写されない場合は、PAL、SECAM、NTSC、NTSC 4.43、PAL-M、PAL-N の中から、適切なカラー方式を選択してください。

Component

Auto

入力されたコンポーネントビデオ信号に本機が自動で対応します。

COMPONENT のビデオ信号形式

適切なビデオ映像が投写されない場合は、480i、576i、480p、576p、720p、1035i、1080i の中から、適切なコンポーネントビデオ信号を選択してください。

1) ▲▼ を押して、[システム] を選択する

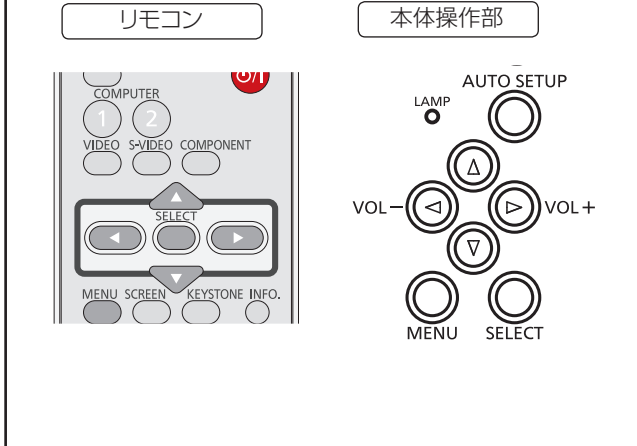
2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る

3) ▲▼ を押して、適切なシステムを選択する

お願い

- オートセットアップ機能の「自動入力切換」機能を [オン 1] または [オン 2] に設定している場合は、入力信号の自動サーチが実行されます。
- RGB(Scart) を選択している場合は、ビデオシステムを選択することはできません。

「自動 PC 調整」について

メインメニューの［PC 調整］を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」☞ 34 ページ）。

自動 PC 調整

自動 PC 調整機能は、お使いのコンピューターに合わせて、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置を自動調整する機能です。

▲▼ を押して、［自動 PC 調整］を選択してから、〈SELECT〉ボタンを押す

- 自動 PC 調整中は、「**しばらくお待ち下さい**」というメッセージが表示されます。

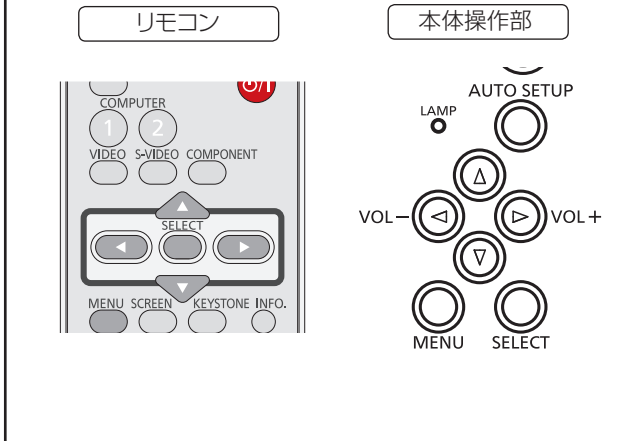
調整値を保存する方法

自動 PC 調整により調整された値を本機に保存することができます。調整値を本機に保存しておくと、次回からは PC システムメニュー（☞37 ページ）でモード（1 ～ 10）を選択するだけで設定が完了します。「メモリー」（☞41 ページ）もご覧ください。

お願い

- コンピューターによっては、この自動 PC 調整でトラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置を調整できないことがあります。この機能で適切な映像が得られない場合は、手動で調整する必要があります（☞40 ～ 41 ページ）。
- PC システムメニュー（☞37 ページ）で 480i、576i、480p、576p、720p、1035i、1080i のいずれかが選択されている場合は、自動 PC 調整機能は働きません。

「手動 PC 調整」について

メインメニューの［PC 調整］を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」☞ 34 ページ）。

お使いのコンピューターが特殊な信号方式を採用している場合、本機のマルチスキャンシステムで調整することができないことがあります。その場合は、その信号方式に合わせて PC 調整項目を手動で調整します。本機には、手動で調整した値を保存できる専用のメモリー領域があり、10 パターンまで保存できます。これにより、特定のコンピューター専用の設定をいつでも呼び出すことができます。

トラッキング

1）▲▼ を押して、［トラッキング］を選択する

2）〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する

3）◀▶ を押して、値を調整する

- 値は 0 ～ 31 の範囲で調整できます。

総ドット数

1）▲▼ を押して、［総ドット数］を選択する。

2）〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する

3）◀▶ を押して、値を調整する

水平位置

1）▲▼ を押して、［水平位置］を選択する

2）〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する

3）◀▶ を押して、水平位置を調整する

■水平位置（左右）の調整

操作	調整	
◀ を押す	映像位置が右へ移動します	
▶ を押す	映像位置が左へ移動します	

垂直位置

1）▲▼ を押して、［垂直位置］を選択する

2）〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する

3）◀▶ を押して、映像の垂直位置を調整する

■垂直位置（上下）の調整

操作	調整	
▶ を押す	映像位置が上へ移動します	
◀ を押す	映像位置が下へ移動します	

コンピューター情報

1) ▲▼ を押して、[コンピューター情報] を選択する
2) ▶ または〈SELECT〉ボタン を押して、サブメニュー に移ると、接続されているコンピューターの水平周波数および垂直周波数が表示される

クランプ

1) ▲▼ を押して、[クランプ] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、レベルを調整する
   - 映像に暗色の線が出る場合に、この調整を行います。

画面領域 H

1) ▲▼ を押して、[画面領域 H] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、水平方向の画面領域を調整する

画面領域 V

1) ▲▼ を押して、[画面領域 V] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタン を押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、垂直方向の画面領域を調整する

リセット

このリセット機能を実行すると、すべての調整が解除され、最初の状態に戻ります。

1) ▲▼ を押して、[リセット] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押す
   - 確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

データ消去

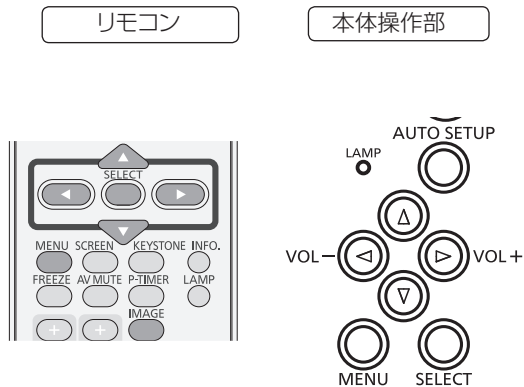
1) ▲▼ を押して、[データ消去] を選択する
2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る
   - 消去したいモードを選択して、〈SELECT〉ボタンを押します。

メモリー

1) ▲▼ を押して、[メモリー] を選択する
2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る
   - 保存先として、モード 1 ～ 10 のいずれかを選択して、〈SELECT〉ボタンを押します。

「画質モード」について

メインメニューの［画質モード］を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」☞ 34 ページ）。

リモコン　本体操作部

ダイナミック

明るい部屋向けの画質モード。

▲▼ を押して、［ダイナミック］を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

標準

あらかじめ設定されている標準的な画質モード。

▲▼ を押して、［標準］を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

リアル

中間階調を明るく見せる画質モード。

▲▼ を押して、［リアル］を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

シネマ

階調表現を重視した画質モード。

▲▼ を押して、［シネマ］を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

黒（緑）板

黒板に投写する場合のモード。

▲▼ を押して、［黒（緑）板］を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

- このモードは、黒板に投写した映像を最適化します。黒色の黒板ではなく、緑色の黒板で効果があります。

カラーボード

壁面などのカラーボードに投写する場合のモード。

1）▲▼ を押して、［カラーボード］を選択する

2）▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る

- 赤、青、黄、緑のいずれかを選択できます。

イメージ 1 ～ 4

「画質調整」メニューの「メモリー」で設定したユーザー定義の画質モード。

このイメージメモリーは、コンピューター、コンポーネント、ビデオの入力モードごとに用意されています。

▲▼ を押して、［イメージ 1 ～ 4］を選択してから、〈SELECT〉ボタンを押す

「画質調整」について

メインメニューの [画質調整] を選択して、サブメニューの項目を選択してください。(「メニュー画面の操作方法」☞ 34 ページ)。

リモコン

本体操作部

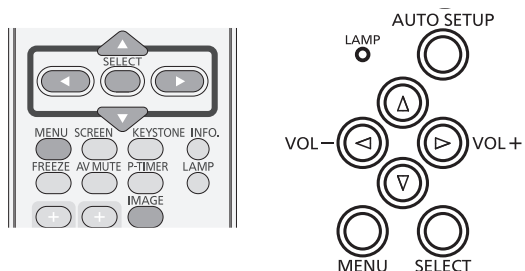
コントラスト

1) ▲▼ を押して、[コントラスト] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	画面が明るくなり、映像が濃くなります	最大値 ＋ 63
◀ ボタンを押す	画面が暗くなり、映像が薄くなります	最小値 0

明るさ

1) ▲▼ を押して、[明るさ] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	画面の暗い部分 (黒色) が明るくなります	最大値 ＋ 63
◀ ボタンを押す	画面の暗い部分 (黒色) が暗くなります	最小値 0

色の濃さ

1) ▲▼ を押して、[色の濃さ] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	色を濃くなります	最大値＋ 63
◀ ボタンを押す	色を薄くなります	最小値 0

お知らせ

● ビデオ系信号入力時に、[色の濃さ] を調整できます。

色合い

1) ▲▼ を押して、[色合い] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、レベルを調整して適切な色合いにする
   ● 値は 0 ～ 63 の範囲で調整できます。

お知らせ

● ビデオ系信号入力時で、カラー方式が NTSC または NTSC4.43 のとき、[色合い] を調整できます。

アイリス

1) ▲▼を押して、[アイリス] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ▲▼を押して、オン / オフを切り換える

オフ	無効
オン	画面全体の明るさが暗めのときに、コントラストが濃くなります

色温度

1) ▲▼ を押して、[色温度] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、適切な色温度レベルを選択する
   - [超低]、[低]、[中]、[高] のいずれかの色温度レベルを選択できます。

お知らせ

- [画質モード] メニューで [黒 (緑) 板] または [カラーボード] を選択すると、[色温度] レベルに [黒 (緑) 板] または [カラーボード] が表示されます。

赤

1) ▲▼ を押して、[赤] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	映像の白色部分の赤みが強くなります	最大値 + 63
◀ボタンを押す	映像の白色部分の赤みが弱くなります	最小値 0

緑

1) ▲▼ を押して、[緑] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	映像の白色部分の緑が強くなります	最大値 + 63
◀ボタンを押す	映像の白色部分の緑が弱くなります	最小値 0

青

1) ▲▼ を押して、[青] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	映像の白色部分の青みが強くなります	最大値 + 63
◀ボタンを押す	映像の白色部分の青みが弱くなります	最小値 0

画質

1) ▲▼ を押して、[画質] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、レベルを調整する。

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	輪郭がシャープになります	最大値 + 15
◀ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります	最小値 0

ガンマ補正

1) ▲▼ を押して、[ガンマ補正] を選択する
2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する
3) ◀▶ を押して、ガンマ値を調整して、コントラストのバランスをよくする
   - 値は 0 ～ 15 の範囲で調整できます。

ノイズリダクション

1) ▲▼ を押して、[ノイズリダクション] を選択する

2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する

3) ◀▶ を押して、適切な項目を選択する

オフ	ノイズリダクションを無効にします
L1	低感度のノイズリダクション
L2	高感度のノイズリダクション

- 映像信号ノイズを減らすことができます。上記の中から適切なオプションを選択して、画質をなめらかにします。
- PC システムメニューで 480p、576p、720p、1035i、または 1080i を選択すると、ノイズリダクションは選択できません。

お知らせ

- ノイズリダクション機能はビデオ系信号を入力する際に利用できます。

プログレッシブ

1) ▲▼ を押して、[プログレッシブ] を選択する

2) 〈SELECT〉ボタンを押して、調整画面を表示する

3) ◀▶ を押して、適切な項目を選択する

- インターレースのビデオ信号をプログレッシブモードで表示することができます。以下のオプションを選択します。
- PC システムメニューで 480p、576p、720p、1035i、または 1080i を選択すると、プログレッシブは選択できません。

オフ	プログレッシブを無効にします
L1	動画に適したレベル設定です
L2	静止画に適したレベル設定です
フィルム	フィルム映画から方式変換された映像の再生に適したレベル設定です

お知らせ

- プログレッシブ機能は、ビデオ系信号を入力する際に利用できます。

リセット

このリセット機能を実行すると、すべての調整が解除され、最初の状態に戻ります。

1) ▲▼ を押して、[リセット] を選択する

2) 〈SELECT〉ボタンを押す

- 確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

メモリー

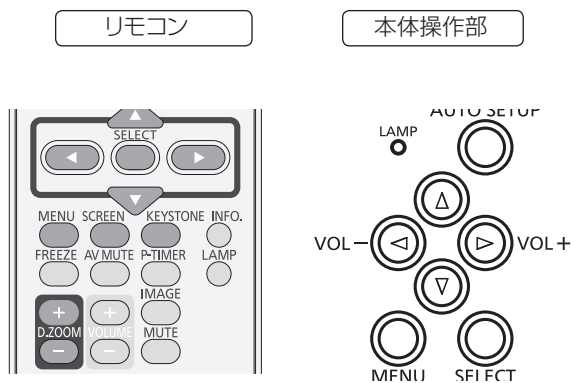
1) ▲▼ を押して、[メモリー] を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押す

3) ▲▼ を押して、イメージ 1 ～ 4 のいずれかを選択して、〈SELECT〉ボタンを押す

- 確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

「スクリーン」について

メインメニューの [スクリーン] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」☞ 34 ページ）。

ノーマル

入力信号のアスペクト比を変えずに、スクリーンサイズに合わせて投写します。

▲▼ を押して、[ノーマル] を選択し、〈SELECT〉 ボタンを押す

フル

フルスクリーンの映像を投写します。

▲▼ を押して、[フル] を選択し、〈SELECT〉 ボタンを押す

ワイド (16:9)

アスペクト比 16:9 で投写します。

▲▼ を押して、[ワイド (16:9)] を選択し、〈SELECT〉 ボタンを押す

ズーム

映像のサイズを相対的に調整して、スクリーン全体に収めます。映像の上下または左右のいずれかがスクリーンサイズを超えることがあります。

▲▼ を押して、[ズーム] を選択し、〈SELECT〉 ボタンを押す

リアル

入力信号の解像度で投写します。入力信号の解像度がパネル解像度 * よりも大きい、または小さい場合は、自動的に映像位置調整機能の調整モードになります。

1) ▲▼ を押して、[リアル] を選択し、〈SELECT〉 ボタンを押す

2) ▲▼◀▶ ボタンで映像位置を調整する

- 映像位置を調整すると、移動した方向の矢印が赤く表示されます。調整限界位置で、矢印の表示が消えます。

* PT- LW25H のパネル解像度 :1280 × 800
PT- LX30H/PT- LX26H のパネル解像度:1024 × 768

お知らせ

- リアル機能は、コンピューター信号を入力する際に利用できます。
- PC システムメニューで、480i、576i、480p、576p、720p、1035i、または 1080i を選択している場合は、リアル機能は無効になるため、表示されません。
- スクリーンメニューで リアル を選択している場合は、デジタルズーム +/- は選択できません。

ピッタリワイド [PT-LW25H のみ]

アスペクト比 4:3 の映像を、中央はあまり補正せず自然な映像になるように徐々に広げて投写します。

▲▼ を押して、[ピッタリワイド] を選択し、〈SELECT〉 ボタンを押す

お知らせ

- ピッタリワイド機能は、ビデオ系信号を入力する際に利用できます。
- PC システムメニューで、720p、1035i または 1080i が選択されている場合、ピッタリワイドは選択できません。

カスタム

「カスタム調整」でメモリーしたアスペクト比で映像を投写します。

▲▼ を押して、[カスタム] を選択し、〈SELECT〉 ボタンを押す

カスタム調整

スクリーンのスケールと位置を手動で調節します。

1) ▲▼ を押して、[カスタム調整] を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る

3) ▲▼ を押して、調整したい項目を選択する
- 以下に示す項目のいずれかを選択できます。

水平 / 垂直スケール	映像のスケールを水平 / 垂直方向に調整します
H&V	[オン] にすると、アスペクト比を固定できます
水平 / 垂直位置	映像の水平 / 垂直位置を調整します
共通	調整したスケールまたは位置をすべての入力に対して適用されます
リセット	調整した値すべてをリセットします

デジタルズーム +

映像をズームインします。

1) ▲▼ を押して、[デジタルズーム +] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す
- 画面上のメニューが非表示になり、[D. zoom +] が表示されます。

2)〈SELECT〉ボタンを押して、映像を拡大する。 ▲▼ ◀▶ を押して、映像の位置を調整する
- この映像位置調整機能は、映像信号がパネル解像度よりも大きい場合に使用できます。映像は、〈D.ZOOM +〉または〈SELECT〉ボタンでも拡大できます。

デジタルズーム -

映像をズームアウトします。

1) ▲▼ を押して、[デジタルズーム -] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す
- 画面上のメニューが非表示になり、[D. zoom -] が表示されます。

2)〈SELECT〉ボタンを押して、映像を縮小する
- 映像は、〈D.ZOOM -〉または〈SELECT〉ボタンでも縮小できます。

デジタルズーム +/- モードを終了するには、〈D.ZOOM +/–〉、〈SELECT〉、または ▲▼◀▶ 以外の任意のボタンを押します。

前のスクリーンサイズに戻すには、スクリーンサイズ調整メニューでスクリーンサイズを選択するか、または入力メニュー（☞ 37 ページ）で入力信号を選択します。あるいは、〈D.ZOOM +/–〉ボタンでスクリーンサイズを調整します。

お知らせ
- このデジタルズーム +/- 機能は、コンピューター信号を入力する際に利用できます。
- [スクリーンアスペクト] でリアルを選択している場合は、デジタルズーム +/- を選択することはできません。
- [スクリーンアスペクト] で [カスタム] を選択している場合は、デジタルズーム +/- を選択することはできません。
- PC システムメニュー（➡37 ページ）で、480i、576i、480p、576p、720p、1035i、または 1080i を選択している場合は、デジタルズーム +/- 機能は無効になるため、表示されません。

台形補正

映像の台形歪みを補正する機能です。

1) ▲▼ を押して、[台形補正] を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押す

3) ▲▼ を押して、調整したい項目を選択する

台形補正	台形歪みを補正します
メモリー	台形補正の情報を保存またはリセットします

以下は、[メモリー] のサブメニューです。

メモリー	電源コードを抜いても、台形補正した状態を保持します
リセット	交流電源コードを抜くと、台形補正した状態を解除します

天つり

天つりした本体から映像を投写する際に使用する機能です。

1）▲▼ を押して、[天つり] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2）▲▼ ボタンで映像を調整する
- この機能をオンにすると、映像が上下および左右に反転します。

リア投映

スクリーンの背後から投写する際に使用する機能です。

1）▲▼ を押して、[リア投映] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2）▲▼ ボタンで映像を調整する
- この機能をオンにすると、映像が左右に反転します。

スクリーンアスペクト [PT-LW25H のみ]

アスペクト比が 4:3 または 16:9 のスクリーンに投写する際に使用する機能です。

1）▲▼ を押して、[スクリーンアスペクト] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2）▲▼ を押して、以下に示す項目のいずれかを選択します

初期設定 (16:10)	16:10 は LCD パネルのアスペクト比です。
16:9	アスペクト比 16:9 のスクリーンに投写する。
4:3	アスペクト比 4:3 のスクリーンに投写する。

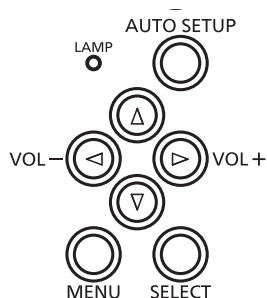
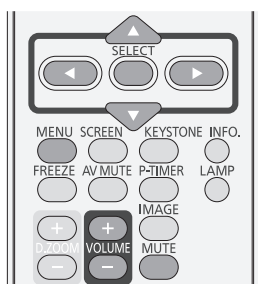
お知らせ
- [4:3] が選択されている場合、ビデオ系信号入力時のスクリーンメニューの [ピッタリワイド] は選択できません。
- [16:9] が選択されている場合、スクリーンメニューの [ワイド (16:9)] は選択できません。

リセット

調整データをリセットすると、すべての調整が解除され、最初の状態に戻ります。

▲▼ を押して、[リセット] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す
- 確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

「サウンド」について

メインメニューの [サウンド] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」☞ 34 ページ）。

リモコン

本体操作部

音量

1）▲▼ を押して、[音量] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2）◀▶ を押して、音量を調整する

操作	調整	調整範囲
▶ を押す	ボリュームを上げる	最大値 ＋ 31
◀ を押す	ボリュームを下げる	最小値 0

- リモコンまたは本体操作部の〈VOLUME +/-〉ボタンを押して、音量を調整することもできます。

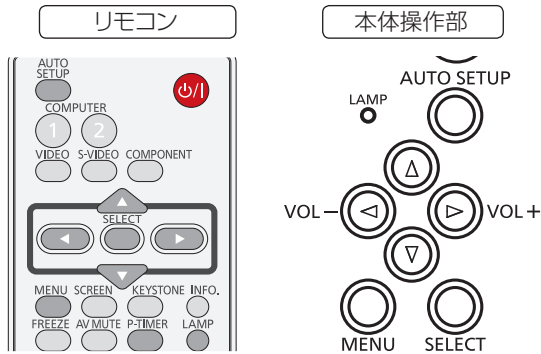
消音

1）▲▼ を押して、[消音] を選択する

2）〈SELECT〉ボタンを押して、消音機能のオンとオフを切り換える

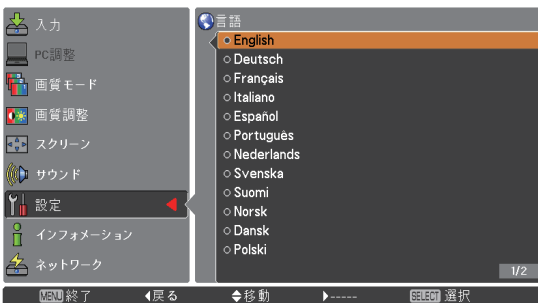
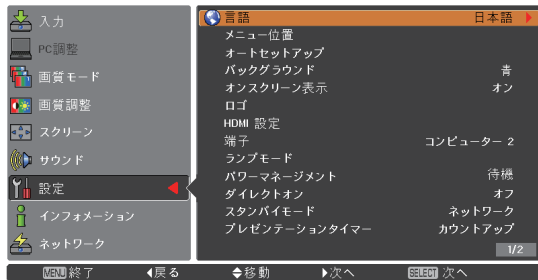
- リモコンの〈MUTE〉ボタンを押して消音機能をオンにすると、一時的に消音できます。消音を解除するには、もう一度〈MUTE〉ボタンを押して消音機能をオフにするか、または〈VOLUME +/–〉ボタンを押します。

「設定」について

メインメニューの［設定］を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」☞ 34 ページ）。

言語

1) ▲▼ を押して、［言語］を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押す

3) ▲▼ を押して、適切な言語を選択する

● オンスクリーンメニューで使用できる言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スエーデン語、フィンランド語、ノルウェー語、チェコ語、ポーランド語、ハンガリー語、デンマーク語、ルーマニア語、ロシア語、トルコ語、アラビア語、カザフ語、ベトナム語、中国語、韓国語、日本語、タイ語です。

メニュー位置

オンスクリーンメニューの位置を変更する際に使用する機能です。

1) ▲▼ を押して、［メニュー位置］を選択する

2)〈SELECT〉ボタンを押して、位置を変更する

● 〈SELECT〉ボタンを押す度に、メニュー位置が以下の順番で表示されます。

中央 → 左下 → 右下→ 左上→ 右上→ 中央 ......

オートセットアップ

1) ▲▼ を押して、［オートセットアップ］を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押す

3) ▲▼ を押して、以下の機能を選択します

■ 自動入力切換

入力信号を自動的に検出します。信号を検出すると、検索は停止します。

オフ	自動入力切換なし
オン 1	自動入力切換が作動する *1
オン 2	自動入力切換が作動する *2

*1： ● リモコンまたは本体操作部の〈AUTO SETUP〉ボタンを押した場合。

*2： ● リモコンの〈ON/STAND-BY〉ボタン または本体操作部の〈⏻/I〉ボタン を押して本機の電源を入れた場合。
● リモコンまたは本体操作部の〈AUTO SETUP〉ボタンを押した場合。
● 現在の入力信号が途絶えた場合。*
* AV ミュートまたは静止機能を有効にしている場合は、それを無効にしてから、自動入力切換を有効にします。この機能はオンスクリーンメニューが表示されていると利用できません。

■ 自動 PC 調整

オン	自動 PC 調整を有効にします *1
オフ	自動 PC 調整を無効にします

*1：リモコンまたは本体操作部の〈AUTO SETUP〉ボタンを押した場合。

■ 自動台形補正

自動	本体の傾き加減に応じて、自動的に台形歪みを補正します
手動	リモコンまたは本体操作部の〈AUTO SETUP〉ボタンを押した場合にのみ動作します
オフ	自動台形補正なし

お知らせ
- 自動入力切換、自動 PC 調整、および自動台形補正を同時にオフにすることはできません。
- 設定メニューの天つり機能がオンになっていると、自動台形補正は動作しません。

バックグラウンド

入力信号を検出できないときに表示するバックグラウンドスクリーンを選択します。

1) ▲▼ を押して、[バックグラウンド] を選択する

2)〈SELECT〉ボタンを押す

3) ▲▼ を押して切り換える

青	青色のバックグラウンド
黒	黒色のバックグラウンド
ユーザー	『ロゴ転送ソフトウェア』*1 で転送されたロゴを表示します

*1『ロゴ転送ソフトウェア』は付属の CD-ROM に収録されています。[ユーザー] はロゴが転送されているときのみ選択可能です。

オンスクリーン表示

オンスクリーン表示を表示するかどうかを選択します。

1) ▲▼ を押して、[オンスクリーン表示] を選択する

2)〈SELECT〉ボタンを押す

3) ▲▼ を押して、以下のオプションを選択する

オン	オンスクリーン表示すべてを表示します *1
カウントダウン オフ	電源を入れると、カウントダウンをせずに、入力映像が投写されます。*2
オフ	オンスクリーン表示を非表示にします *3

*1：ランプの明るさが十分になってから、映像の投写を開始する場合に選択します。初期設定では、このオプションが選択されています。

*2：ランクの明るさが不十分でも、可能な限り早く映像の投写を開始する場合に選択します。

*3：「オフ」に設定した場合は、以下を除いて、オンスクリーン表示を非表示にします。
- オンスクリーンメニュー
- 「もう1度押すと電源が切れます」
- プレゼンテーションタイマー表示
- パワーマネージメントの「入力信号なし」
- 「しばらくお待ち下さい」
- スクリーンメニューのリアル機能で表示する矢印

ロゴ

ロゴ選択、ロゴ暗証番号ロック、ロゴ暗証番号変更などの機能でロゴをカスタマイズします。

1) ▲▼ を押して、[ロゴ] を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押す

3) ▲▼ を押して切り換える

■ ロゴ選択

スタートアップ表示のオプションを選択します。

オフ	カウントダウン画面のみ表示します
初期設定	初期設定のロゴを表示します
ユーザー	『ロゴ転送ソフトウェア』*1 で転送されたロゴを表示します

*1『ロゴ転送ソフトウェア』は付属の CD-ROM に収録されています。[ユーザー] はロゴが転送されているときのみ選択可能です。

■ ロゴ暗証番号ロック

管理者権限のない者がロゴを変更できないようにロックします。

オフ	ロゴ暗証番号無しでロゴを自由に変更できます
オン	ロゴ暗証番号がなければ、ロゴを変更することはできません

お知らせ
- ロゴ暗証番号ロックの設定を変更する場合は、〈SELECT〉ボタンを押すと、ロゴ暗証番号ロックの変更画面が表示されます。以下に示す手順に従い、ロゴ暗証番号を入力します。初期設定のロゴ暗証番号は「4321」です。

■ロゴ暗証番号の変更

ロゴ暗証番号は、4桁の任意の数字に変更できます。

1) ▲▼ を押して、[ロゴ暗証番号変更] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す
- 現在のロゴ暗証番号画面が表示されます。

2) ▲▼ を押して、現在の暗証番号を入力し、▶ ボタンを押して数字を確定し、次のボックスに赤枠ポインターを移動する
- 新ロゴ暗証番号画面が表示されます。

3) この手順を繰り返して、新しいロゴ暗証番号を設定する

お願い
- 新しいロゴ暗証番号をメモして、手元に保管してください。この番号を無くすと、ロゴ暗証番号設定を変更できませんので、ご注意ください。

端子

本体の背面にある〈COMPUTER IN 2/MONITOR OUT〉端子は、コンピューター 2 の入力または モニターの出力に切り換えることができます。

1) ▲▼ を押して、[端子] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、項目を切り換える

コンピューター 2	コンピューターからの入力
モニター出力	モニターへの出力

お願い
- コンピューター 2 が選択されている場合は、この [端子] 機能は選択できません。そのような場合は、入力を コンピューター 1、ビデオ のいずれかに変更すると、端子機能を使用することができるようになります。

パワーマネージメント

本機を投写中しばらくの間何も操作しないでいると、パワーマネジメント機能により、ランプが消灯します。これにより、電力消費量を減らし、ランプを長持ちさせることができます。

1) ▲▼ を押して、[パワーマネージメント] を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る

■モード

1) ▲▼ または〈SELECT〉ボタンを押して、適切な項目を選択する

待機	ランプが完全に冷めると、〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターが緑で点滅します。この状態のときに、再び信号を入力するか、またはリモコンまたは本体操作部の任意のボタンを押すと、ランプが点灯し映像が投写されます
シャットダウン	ランプの冷却が完了すると、電源がオフになります
オフ	パワーマネジメント機能が無効になります

■タイマー

1) ▲▼ を押して、[タイマー] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、タイマー（1 ～ 30 分）をセットする

ダイレクトオン

1) ▲▼ を押して、[ダイレクトオン] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、オンまたはオフにする

- オンにすると、電源コードをコンセントとつなぐだけで、本体の電源が自動的にオンになります。
- 本体の電源を切る際は、適切な手順に従ってください。手順に誤りがあると、ダイレクトオン機能は正確に動作しません。

スタンバイモード

スタンバイ状態での電力を設定します。

1) ▲▼ を押して、[スタンバイモード] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、以下の中から、適切な項目を選択する

エコ	スタンバイ状態時に一部の機能を制限し、電力を下げます。
ネットワーク	スタンバイ状態時の機能を制限しません。

お知らせ

- 「エコ」に設定した場合、スタンバイ状態でネットワーク機能の使用はできません。また、RS-232C コマンドの一部が使用できません。
- 「ネットワーク」に設定した場合、スタンバイ状態でネットワーク機能が使用できます。また、本体の電源が入っていなくても、本体内部の温度が高ければ、ファンによる冷却が行われることがあります。
- 『取扱説明書 - ネットワーク操作編』を参照してください。

プレゼンテーションタイマー

この機能は、プレゼンテーションタイマーの設定を変更したり、実際にタイマーでカウントするときに使用します。

1）▲▼ を押して、[プレゼンテーションタイマー] を選択する

2）▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る

■ モード

1）▲▼ を押して、以下の中から、適切なモードを選択する

カウントアップ	「000:00」をスクリーンに表示して、0 秒から経過時間をカウントアップ (000:00 ～ 180:00) します
カウントダウン	タイマー設定でセットした時間をスクリーンに表示して、経過時間をカウントダウンします。

■ タイマー

1）▲▼ を押して、[タイマー] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2）▲▼ を押して、[タイマー]（1 ～ 180 分）をセットする

- この [タイマー] はカウントダウンのみに使用できます。初期設定値は 10 分です。

■ 実行する

1）▲▼ を押して、適切な項目を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

スタート	カウントアップまたはカウントダウンを開始します *1
リセット	プレゼンテーションタイマーの値をリセットします *2
終了	プレゼンテーションタイマーの操作を終了します

*1：[スタート] で〈SELECT〉ボタンを押すと、表示が [ストップ] に変わります。カウントダウンまたはカウントアップを（一時）停止するには、スクリーンメニューの [ストップ] で〈SELECT〉ボタンを押します。そうすると、表示が [再スタート] に変わります。[再スタート] で〈SELECT〉ボタンを押して、カウントダウンまたはカウントアップを再開します。

*2：[リセット] で〈SELECT〉ボタンを押すと、以下の値に戻ります。

カウントアップ	"000:00"
カウントダウン	セットしたタイマー時間

お知らせ

- プレゼンテーションタイマーのカウントを停止するには、〈P-TIMER〉ボタンを押します。
- プレゼンテーションタイマーを中止するには、〈P-TIMER〉ボタンを数秒間、長押しします。

クローズドキャプション

[NTSC 入力のみ]

1）▲▼ を押して、[クローズドキャプション] を選択する

2）▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る

■ クローズドキャプション

1）▲▼ を押して、[クローズドキャプション] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2）▲▼ ボタンを押して、オフ、CC1、CC2、CC3、CC4 のいずれかを選択する

■ カラー

1）▲▼ を押して、[カラー] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2）▲▼ を押して、[カラー] または [ホワイト] を選択する

お知らせ

- クローズドキャプションは映像信号に含まれたテキスト情報を表示する機能として、主に北米地域で使用されています。お使いの機器やソフトウェアによっては、キャプション（テキスト情報）が表示されないことがあります。
- NTSC 信号が入力されている場合にのみ、[クローズドキャプション] を選択できます。
- [台形補正] で大幅に補正している場合は、文字が欠けることがあります。
- メニュー画面表示中は、クローズドキャプションは表示されません。

ランプパワー

スクリーンの明るさを変更することができます。

1) ▲▼ を押して、[ランプパワー] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、適切なモードを選択する

- リモコンの〈LAMP〉ボタンを押して [ランプパワー] を切り換えることもできます。

高	ノーマルモードよりも明るい
ノーマル	標準的な明るさ
エコ	低輝度はランプの消費電力を低減し、ランプの寿命を延ばします。

リモコンコード

この切り換え機能により、複数のプロジェクターまたはビデオ機器を同時に操作する際に、リモコンの干渉を防止ます。

1) ▲▼ を押して、[リモコンコード] を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押す

3) ▲▼ を押して、7 コードのうち、1 コードを選択する

- 本機には、7 通りのリモコンコードがあります。すべて、コード 1 ～ コード 6

お願い

- [すべて] を選択すると、複数のプロジェクターを同時に操作できます。プロジェクターを個別に操作する場合は、別のコードに切り換える必要があります。
- 本機とリモコンのコードが異なると、どのような操作もできません。コードが異なる場合は、リモコンコードを本機に合わせて変更してください。
- リモコンから電池を取り出して、しばらくの間使用していなかった場合は、リモコンコードはリセットされます。

セキュリティ

キーロックと 暗証番号ロックを使用して、本機の操作にセキュリティ保護を設定することができます。

1) ▲▼ を押して、[セキュリティ] を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る

■キーロック

リモコンや本体操作部のボタンをロックして、管理者権限のない者による操作を防止します。

1) ▲▼ を押して、適切な項目を選択する

	ロックを解除します
	本体操作部の操作をロックします。リモコンを使用してロックを解除します。
	リモコンの操作をロックします。本体操作部を使用してロックを解除します。

■暗証番号ロック

管理者権限のない者による本機の操作を防止します。これには、以下のオプションがあります。

1) ▲▼ を押して、適切な項目を選択する

オフ	ロックを解除します
オン 1	本機の電源を入れる度に、暗証番号の入力を要求されます。
オン 2	電源コードを抜いた場合に、暗証番号の入力を要求されます。電源コードを抜かなければ、暗証番号はそのまま有効で、暗証番号を入力せずに本機を操作できます。

お願い

- 暗証番号ロックの設定や暗証番号（4 桁数字）を変更する際には、暗証番号を入力する必要があります。初期設定の暗証番号は、「1234」です。

■暗証番号変更

暗証番号は、4 桁の任意の数字に変更できます。

1) ▲▼ を押して、[暗証番号変更] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

- 現在の暗証番号を入力する画面が表示されます。

2) ▲▼ を押して、現在の暗証番号を入力する。▶ ボタンを押して、数字を確定し、次のボックスに赤枠ポインターを移動する

- 新しい暗証番号を入力する画面が表示されます。

3) この手順を繰り返して、新しい暗証番号を設定する

ファン

1) ▲▼ を押して、[ファン] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、オプションを選択する

● 本機の電源オフ後の冷却ファンの動作について設定します。

L1	標準動作
L2	標準動作 (L1) よりも減速低音になりますが、本機の冷却に要する時間が長くなります。

ファン制御

1) ▲▼ を押して、[ファン制御] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、オプションを 選択する

● 本機を使用する場所の標高に基づいて、冷却ファンの運転速度を選択します。

オフ	標準速度 *1
オン 1	オフモードより速くなります *2
オン 2	オン1モードより速くなります *3

*1：海抜が低い環境で本機を使用する場合は、オフを選択します。
*2：海抜 1,200 メートル以上の環境で本機を使用する場合は、ファンによる冷却効果が低いため、このオプションを選択します。
*3：海抜が非常に高い環境で本機を使用する場合は、ファンによる冷却効果がより低いため、このオプションを選択します。

お知らせ

● 冷却ファンの回転速度の設定が適切でないと、本機の寿命が短くなります。
● オン 1 および オン 2 に設定すると、ファンの動作音が大きくなります。

映像遅延制御

この機能をオンに設定すると、投写映像のデジタル処理を速くすることができます。

1) ▲▼ を押して、[映像遅延制御] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、オンまたはオフにする

お知らせ

● 映像遅延制御機能をオンにすると、ノイズリダクション機能やプログレッシブ機能を選択することはできません。

ランプ使用時間

この機能は、ランプ稼働累積時間を確認したり、ランプ使用時間をリセットするのに使用します。

1) ▲▼を押して、[ランプ使用時間] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る

■ ランプ使用時間

ランプ稼働累積時間を表示します。

■ ランプ使用時間リセット

ランプユニットを交換したら，必ずランプ使用時間をリセットしてください。

1) ▲▼を押して、[ランプ使用時間リセット] を選択する

2)〈SELECT〉ボタンを押す

● [ランプ使用時間をリセットしますか?] という確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。後続の確認画面で、もう一度 [はい] を選択すると、ランプ使用時間がリセットされます。

お願い

● ランプ交換時期が来ると、ランプ使用時間の表示が赤色に変わり、ランプ交換アイコン（☞ 61 ページ）がスクリーンに表示されます。ランプユニットを交換したら、必ずランプ使用時間をリセットしてください。

調整と設定

フィルターカウンター

フィルター交換の頻度を設定することができます。

1) ▲▼ を押して、[フィルターカウンター] を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、サブメニューに移る

■ フィルターカウンター

フィルターを使用した時間の累計を表示します。

■ タイマー

フィルターの交換時間を知らせる表示をスクリーンに表示させるまでの時間を設定します。

1) ▲▼ を押して、[タイマー] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、タイマーをセットする

- 使用環境に応じて、オフ /1000 時間 /2000 時間 /3000 時間 /4000 時間 の中からタイマーを選択します。

■ フィルターカウンターリセット

フィルターを交換した後は、タイマーをリセットする必要があります。

1) ▲▼ を押して、[フィルターカウンターリセット] を選択する

2)〈SELECT〉ボタンを押す

- 「フィルターカウンターリセット ?」という確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。後続の確認画面で、もう一度 [はい] を選択すると、フィルターカウンターがリセットされます。

警告履歴

本機を操作中に生じた異常を記録し、その記録を使用して不具合を調査することができます。

1) ▲▼ を押して、[警告履歴] を選択する

2) ▶ または〈SELECT〉ボタンを押して、最新の警告メッセージを表示する

- 新しい日付の警告メッセージから下降順に、最大 10 件までの警告ログが表示されます。

お知らせ

- 初期設定機能を実行すると、警告ログの情報はすべて削除されます。

AMX D.D.

この機能をオンに設定すると、AMX デバイスディスカバリーによる検知を有効にすることができます。詳細は下記の WEB サイトを参照してください。

http://www.amx.com/

1) ▲▼ を押して、[AMX D.D.] を選択する

2)〈SELECT〉ボタンを押す

3) ▲▼ を押してオンまたはオフにする

初期設定

ユーザーロゴ、暗証番号ロック、ロゴ暗証番号ロック、ランプカウンター、フィルターカウンターを除く、すべての設定値を初期値に戻すことができます。

1) ▲▼ を押して、[初期設定] を選択する

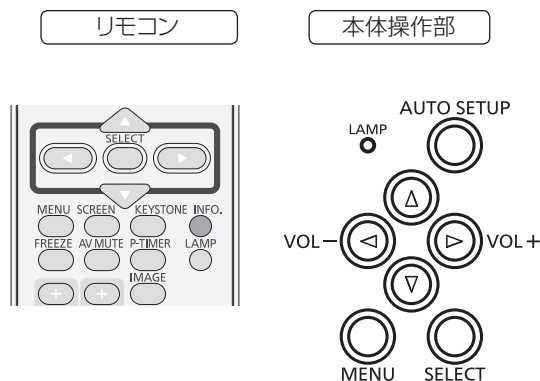
2)〈SELECT〉ボタンを押す

- 「初期設定へ戻しますか ?」という確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。後続の確認画面で、もう一度 [はい] を選択すると、工場出荷時の初期設定の状態に戻ります。

「インフォメーション」について

メインメニューの［インフォメーション］を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」☞ 34 ページ）。

リモコン

本体操作部

インフォメーション表示

インフォメーションメニューで、投写している映像の信号と本機の動作の状態を確認します。
また、リモコンの〈INFO.〉ボタンを押して、インフォメーションメニューを表示することもできます。

■入力

選択している入力元を表示します。

■システム

選択しているシステムを表示します。

■水平周波数

選択している水平同期周波数を KHz 単位で表示します。
入力がない場合、水平周波数の入力信号は - - - - KHz という表示になります。

■垂直周波数

選択している垂直同期周波数を Hz 単位で表示します。
入力がない場合、垂直周波数の入力信号は - - - - Hz という表示になります。インターレース信号の場合は、Hz の数値が 2 倍になります。

■スクリーン

選択しているスクリーンモードを表示します。

■言語

選択している言語を表示します。

■ランプパワー

選択している［ランプパワー］のモードを表示します。
（☞ 54 ページ）

■ランプ使用時間

ランプの累計動作時間を表示します。

■パワーマネージメント

オフ、待機またはシャットダウン、およびタイマーを表示します。

■キーロック

選択しているキーロックのアイコンを表示します。

■暗証番号ロック

オフ、オン 1、またはオン 2 を表示します。

■リモコンコード

選択しているリモコンコードを表示します。

■シリアル番号

本機のシリアル番号を表示します。
シリアル番号は、本機の保守を行うときに必要になります。

インジケーターの表示について

インジケーターが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、〈STANDBY(R)/ON(G)〉、〈LAMP〉、〈WARNING〉インジケーターが点灯や点滅でお知らせします。インジケーターの状態を確認して、次の処置を行ってください。

注意

- 処置を行うときの電源操作は「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(☞29 ページ)。
- 複数のインジケーターが点灯や点滅した場合は、それぞれのインジケーターの状態を確認して処置を行ってください。

お知らせ

- 電源の状態は、〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターで確認してください。(☞26 ページ)

■〈LAMP〉インジケーター

インジケーター	黄色点灯
状態	ランプユニットの交換時期であることを示します。
お調べください	スクリーンにランプ交換アイコンが表示されていますか?
処置方法	ランプユニットの交換を行ってください。 (☞62 ページ)

お知らせ

- 上記の処置をしても、〈LAMP〉インジケーターが点灯し続ける場合は、販売店にご相談ください。

■〈WARNING〉インジケーター

インジケーター	赤色点灯	赤色点滅
状態	本機が異常を検出し、電源を入れることができません。	本機の内部が異常に高温になっています。本機の電源を入れることができません。〈STANDBY(R)/ON(G)〉インジケーターも赤色点滅します。
お調べください	電源コードを抜いて、改めて差し込み、本機の電源を入れます。	- 本機の周辺に十分な換気スペースを確保していますか。本機の排気口をふさぐような取り付け方になっていないことを確認してください。 - 本機を空調や冷暖房のダクトや排気口の近くに設置していませんか? - フィルターはきれいですか?
処置方法	本機の電源が切れてしまう場合は、電源コードを抜いて、販売店にご相談ください。	- 本機を適切に設置してください。 - 本機をダクトや排気口から遠ざけて設置してください。 - フィルターユニットを交換してください。

お知らせ

- 上記の処置をしても、〈WARNING〉インジケーターが点灯または点滅し続ける場合は、販売店にご相談ください。本機の電源を入れたままの状態で放置するのはお止めください。感電または火災の原因になることがあります。
- 本機が異常を検出し、電源を入れることができない場合は、電源コードを抜いて、改めて差し込み、本機の電源を入れます。本機の電源が切れてしまう場合は、電源コードを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。本機の電源を入れたままの状態で放置するのはお止めください。感電または火災の原因になることがあります。

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

● 本機のお手入れや部品交換を行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。（☞25、29 ページ）
● 電源を切るときは「電源を切る」（☞29 ページ）の手順を必ずお守りください。

お手入れ

■ 外装ケース

汚れやほこりは、やわらかい乾いた布でふき取ってください。。

● 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
● お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんは使用しないでください。これらの溶液を使用すると、外装ケースが変質するおそれがあります。

■ レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい布でふき取ってください。

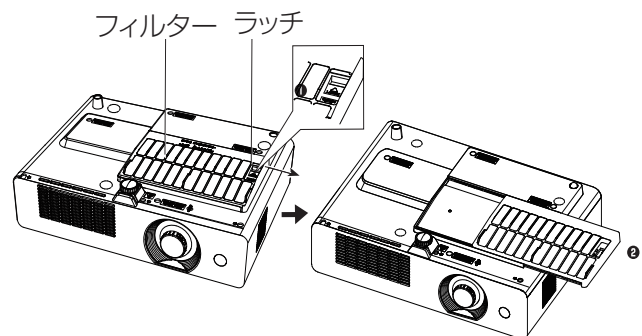
● 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
● レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

お願い

● レンズはガラス部品です。堅いものに当てたり強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

部品交換

■ エアフィルターユニット

フィルターは、本機内の光学部品にほこりがたまるのを防ぎます。 細かいほこりなどでフィルターが詰まると、冷却ファンの効果が低下し、内部に熱がこもる原因になり、本機の寿命が短くなります。
[フィルター警告] アイコンが表示されたら、速やかにフィルターを交換してください。

■ エアフィルターユニットの交換

1）エアーフィルターユニットを取り外す

● 本機を裏返しにして、ラッチを〈OPEN〉側に切り換えて、フィルター（底部）を矢印の方向に取り出します。

2）エアフィルターユニットを交換する

● 新しいフィルターを取り付けます。フィルターがしっかり奥まで入っていることを確認し、ラッチを〈LOCK〉側に戻します。

■ フィルターカウンターのリセット

フィルターを交換したら、必ず、フィルターカウンターをリセットしてください。
（☞「**フィルターカウンターリセット**」56 ページ参照）

お願い

- エアフィルターユニットの交換を行う前に、必ず本機の電源をお切りください。
- 取り付けに際しては、必ず本機の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所で実施してください。
- 本機の電源を入れるときは、必ずエアフィルターユニットを取り付けて使用してください。取り付けずに使用すると、ゴミやほこりを吸い込み、故障の原因となります。
- 給気口や排気口の穴から物などを差し込まないでください。故障の原因となります。
- フィルターは水などの液体で洗浄しないでください。フィルターが傷む原因となります。

■ フィルターカバーの取り付け

付属のフィルターカバーは、本機を天つりする際に、ほこりの堆積を防ぐ設計になっています。

1) 本機を裏返す

2) アジャスター脚ロックを押してアジャスター脚を引き出し、図 (1) のようにフィルターカバー（付属）を取り付け、フィルターカバーに付いているストラップをアジャスター脚のねじ部に巻きつける

3) アジャスター脚ロックを押してアジャスター脚を収める

4) 天つり金具の工事説明書を参考にしながら、本機を天つり金具に取り付ける

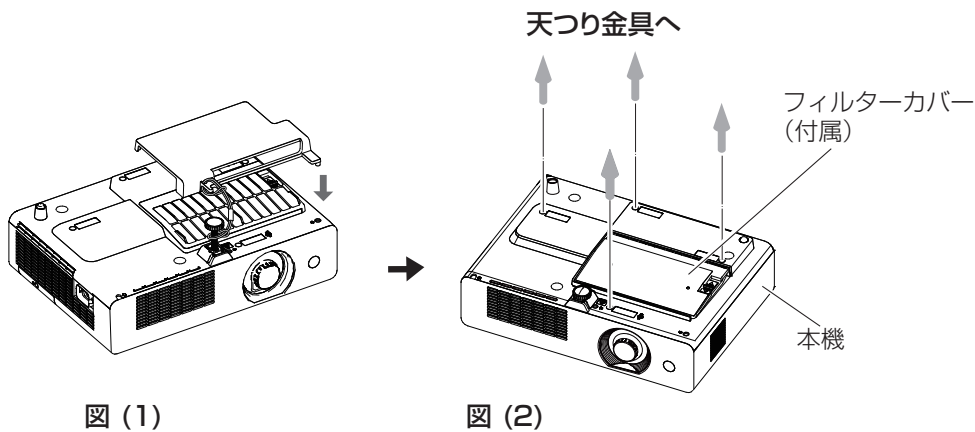



図 (1)　　図 (2)

お願い

- 天つりベース金具 ET-PKL100B を使用する場合は、付属のフィルターカバーの取り付けは不要です。

■ ランプユニット

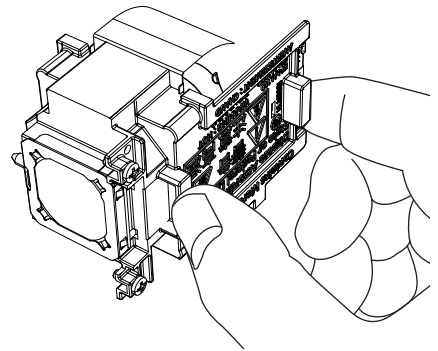
ランプユニットは消耗部品です。インフォメーションメニュー（☞57 ページ）のランプ使用時間から累計使用時間を確認できます。
ランプユニットの交換は、専門の技術者に依頼することをお勧めします。または、販売店にご相談ください。
交換用のランプユニット（品番：ET-LAL100）をご購入の際は、販売店にご相談ください。

■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（45 分以上待って）行う

カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

■ ランプユニット交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物にぶつけたり、落としたりすると破裂する場合があります。
  取り扱いには十分ご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手の部分を持ってください。
- ランプが点灯しなくなった場合や、天つりしているプロジェクターのランプを交換する場合は、ランプが破損しているおそれがありますので、ランプカバーの真下には立たずに安全な位置で交換してください。ランプカバーはゆっくり外してください。ランプカバーを外すと、ランプのガラス片が落下する可能性があります。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。

- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お願い

- 指定のランプユニット以外は使用しないでください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更することがあります。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。ランプユニットの寿命が無くなると、ランプ交換アイコンが表示され、〈LAMP〉インジケーターが黄色に点灯します。そのような場合は、速やかにランプを交換してください。

ランプ使用時間 *1	オンスクリーン表示 ランプ交換アイコン	〈LAMP〉 インジケーター
3000 時間以降	メッセージが 10 秒間表示されます。10 秒以内に任意のボタンを押すと、メッセージが消えます。	黄色に点灯する（スタンバイ時も同様）。
3200 時間以降	左記の時間を過ぎてもランプ交換しないまま使用すると、本機保護のため約 10 分後に電源が自動的に切れます。	

お知らせ

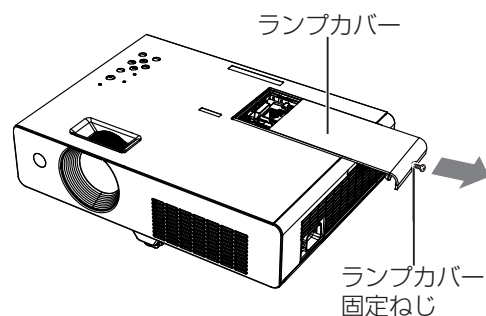
*1：ランプ使用時間は、ランプパワーの設定に応じて変化します。3200 時間は交換の目安であり、保証期間ではありません。保証期間については 75 ページの「保証とアフターサービス」をご覧ください。

- [オンスクリーン表示] をオフ（☞51 ページ）に設定しているとき、静止中（☞32 ページ）、AV ミュート中（☞32 ページ）のいずれかの場合は、ランプ交換アイコンは表示されません。

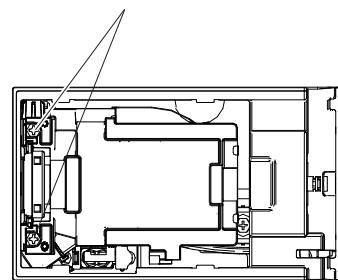
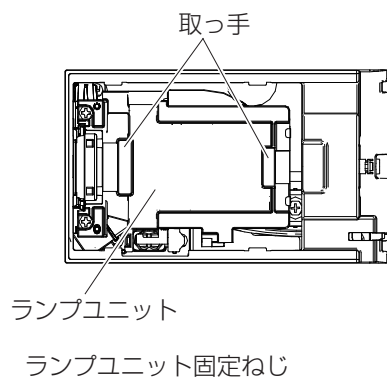
■ ランプユニットの交換

注意：
- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットやランプカバーは確実に取り付けてください。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、ランプをいったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクター部分が破損する場合があります。

1) 「電源を切る」（☞29 ページ）の手順に従い、本機の電源を切る。電源コードを抜く。ランプユニットとその周辺が冷めるのを少なくとも 45 分待つ

2) ランプカバーの固定ねじをプラスドライバーで緩めて、ランプカバーを取り外す
- ランプカバーを取り外す際は、右図に示すように矢印の方向にゆっくりと引いてください。

3) ランプユニットの固定ねじ（2 本）をプラスドライバーで緩めて、ランプユニットの取っ手部分を持ち、ゆっくりと本体から引き出す

4) 新しいランプユニットを確実に挿入し、ランプユニット固定ねじ（2 本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける

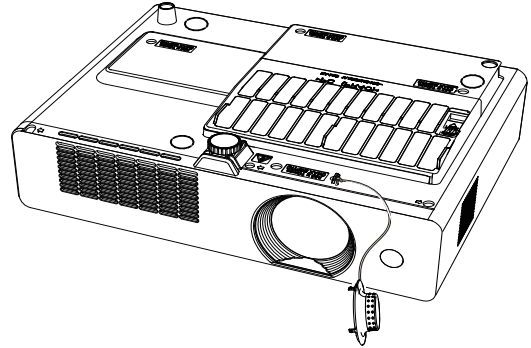
5) ランプカバーを取り付け、ランプカバーの固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける
- ランプカバーは、ゆっくりと取り付けてください。

■ ランプ使用時間のリセット

ランプユニットを交換したら、必ず、ランプ使用時間をリセットしてください。
（☞「**ランプ使用時間リセット**」55 ページ参照）

レンズキャップの取り付け

本機を移動したり、しばらくの間使用しないときは、レンズキャップを取り付けます。
以下の手順に従い、レンズキャップを取り付けます。

1) レンズキャップの穴にストラップ（付属）を通す

2) ストラップのもう片方を本機の底部にある穴に通す

故障かな !?

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	—
	● 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。	—
	● ブレーカーが落ちていませんか。	—
	● 〈LAMP〉、〈STANDBY(R)/ON(G)〉、〈WARNING〉インジケーターが点灯または点滅していませんか。	26, 58
	● ランプカバーが確実に取り付けられていますか。	—
映像がでない	● 映像（出力）機器との接続は正しく行われていますか。	24
	● 入力切り換えは正しく選択されていますか。	31
	● [明るさ] の調整が最小になっていませんか。	43
	● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。	—
	● [AV ミュート] 機能を使用していませんか。	32
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	30
	● 本機とスクリーンの間の投写距離は適切ですか。	19
	● レンズが汚れていませんか。	12
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	—
色が薄い / 色あいが悪い	● [色の濃さ] 、[色合い] は正しく調整されていますか。	43
	● 本機に接続している外部機器は正しく調整されていますか。	—
	● RGB ケーブルが切れていませんか。	—
内蔵スピーカーから音がでない	● 入力端子の接続は適切ですか。	24
	● 音量が最小レベルになっていませんか。	33
	● [AV ミュート] 機能を使用していませんか。	32
	● [消音] 機能を使用していませんか。	33, 49
リモコンがはたらかない	● 電池が消耗していませんか。	—
	● 電池の極性は正しくセットされていますか。	18
	● リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。	15
	● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	15
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	15
	● 本機とリモコンのコードが異なっていませんか。	54
本体操作部のボタンがはたらかない	● [設定] の [セキュリティ] にある [キーロック] でロックをかけていると、本体操作部の操作はできません。	54
正常な映像が映らない	● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	69 ～ 71
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。	—
	● ノート型コンピューターの外部映像出力が正しく設定されていますか。	—
映像がゆがむ、またははみ出る	● [PC 調整] または [スクリーン] を確認して、適宜調整してください。	40, 46

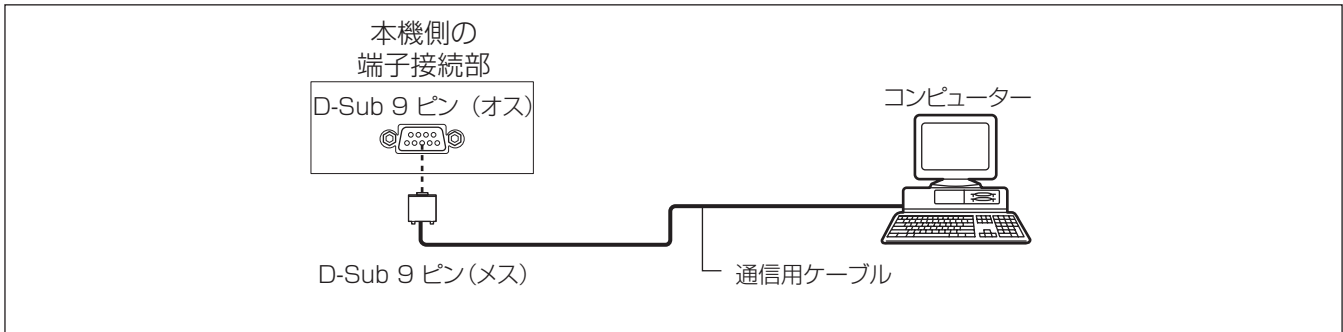
お願い

● 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。（☞75 ページ）

付録

シリアル端子について

〈SERIAL IN〉端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して、本機をコンピューターで制御できます。

■ 接続

■ ピン配列と信号名

D-Sub 9 ピン（オス）外観図

⑥ → ⑨

① → ⑤

ピン番号	信号名	内容
①	—	NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④	—	NC
⑤	GND	グラウンド
⑥	—	NC
⑦	—	NC
⑧	—	NC
⑨	—	NC

■ 通信条件

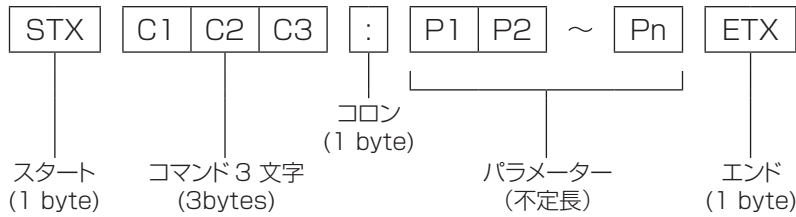
信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	19,200 bps
パリティ	なし

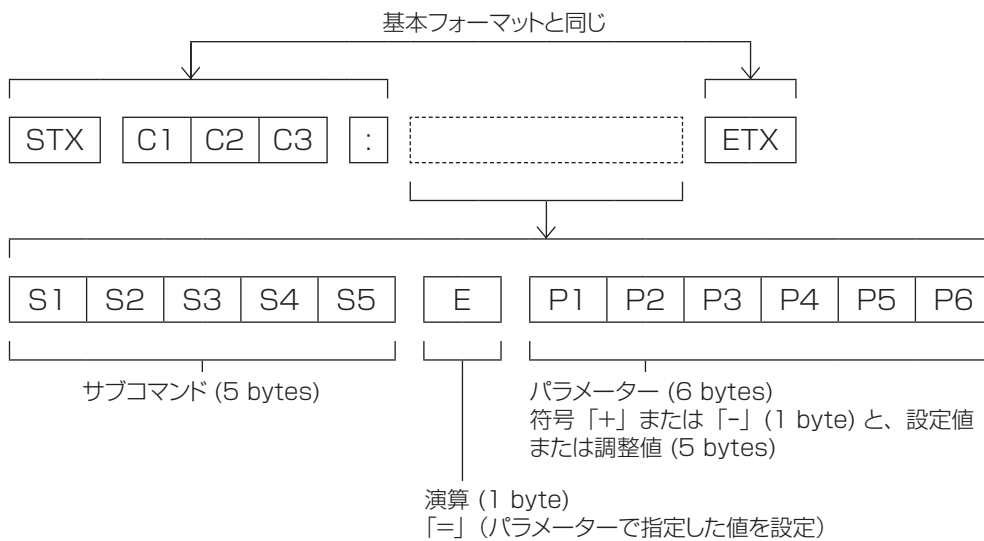
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

お知らせ

- AMX D.D. の機能が [設定] メニューで [オン] に設定されている場合、ボーレートは自動的に 9,600bps に変更されます。

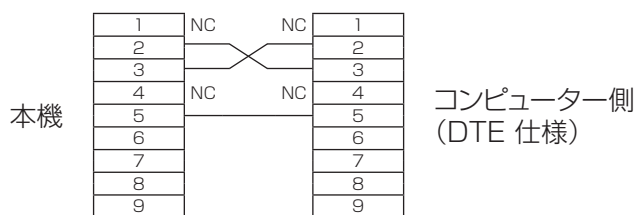
■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で始まり、続いて コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信されます。パラメーターは制御内容に応じて追加してください。

＊: パラメーターなしでコマンドを送信する場合は、コロン (:) は不要です。

■基本フォーマット（サブコマンドあり）

＊: パラメーター不要のコマンドを送信する場合は、演算 (E) とパラメーターは不要です。

その他

■ケーブル仕様

〈コンピューターと接続する場合〉

■制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

[操作コマンド]

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	
POF	電源「切」	
IIS	入力信号切り換え	（パラメーター） VID =ビデオ SVD = コンピューター 1(S-video) RG1 =コンピューター 1(RGB) RG2 =コンピューター 2(RGB) SCT= コンピューター 1(Scart)
OSH	AV ミュート機能	映像と音声を一時的に消します。 コマンドを送信するごとに ON/OFF が切り換わります。 短時間での ON/OFF の切り換えは行わないでください。
OFZ	静止	コマンドを送信するごとに ON/OFF が切り換わります。
AUU	音量を上げる	
AUD	音量を下げる	
DZU	デジタルズームアップ	
DZD	デジタルズームダウン	
QPW	電源状態問い合わせ	000 = スタンバイ 001 =電源「入」
Q $S	ランプ点灯状態問い合わせ	（コールバック） 0 = スタンバイ 1 =ランプ点灯制御中 2 =ランプ点灯 3 =ランプ消灯制御中

その他の端子について

■〈COMPUTER IN 1/COMPONENT IN/S-VIDEO IN〉端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	R/P_R/S-C
	②	G/G・SYNC/Y/S-Y
	③	B/P_B
	⑨	+5 V
	⑫	DDC データ
	⑬	HD/SYNC
	⑭	VD
	⑮	DDC クロック

④：なし
⑤ - ⑧、⑩、⑪：GND 端子

■〈COMPUTER IN 2/MONITOR OUT〉端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	R/P_R
	②	G/G・SYNC/Y
	③	B/P_B
	⑬	HD/SYNC
	⑭	VD

④、⑨、⑪、⑫、⑮：なし
⑤ - ⑧、⑩、⑪：GND 端子

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。
フォーマット：V = VIDEO、S = S-VIDEO、C = COMPUTER、Y = YP_BP_R。

モード	解像度 *1（ドット）	走査周波数		ドットクロック周波数 (MHz)	画質 *2			プラグアンドプレイ対応	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-LW25H	PT-LX30H	PT-LX26H	コンピューター	
480p	640 x 480	31.47	59.88	25.20	A	A	A		C/Y
480i	640 x 480i	15.734	60.00	12.2727					
576p	768 x 576	31.25	50.00	29.50	A	A	A		
576i	768 x 576i	15.625	50.00	14.75	A	A	A		
720p	1280 x 720	37.50	50.00	74.25					
		45.00	60.00	74.25					
1035i	1920 x 1035i	33.75	60.00	74.25	A	A	A		
1080/50i	1920 x 1080i	28.125	50.00	74.25	A	A	A		
1080/60i	1920 x 1080i	33.75	60.00	74.25	A	A	A		
VGA	640 x 480	31.47	59.88	25.149	A	A	A	○	C
		37.86	74.38	31.50	A	A	A	○	
		37.86	72.81	31.50	A	A	A	○	
		37.50	75.00	31.50	A	A	A	○	
		43.269	85.00	36.00	A	A	A		
	640 x 400	31.47	70.09	25.175	A	A	A		
	720 x 400	31.47	70.09	28.322	A	A	A		
SVGA	800 x 600	35.156	56.25	36.00	A	A	A	○	
		37.88	60.32	40.00	A	A	A	○	
		46.875	75.00	49.50	A	A	A	○	
		53.674	85.06	56.25	A	A	A	○	
		48.08	72.19	50.00	A	A	A		
		37.90	61.03	40.02	A	A	A		
		34.50	55.38	36.432	A	A	A		
		38.00	60.51	40.128	A	A	A		
		38.60	60.31	38.60	A	A	A		
		32.70	51.09	32.70	A	A	A		
		38.00	60.51	40.128	A	A	A		
MAC	1280 x 960	75.00	75.08	126.00	A	A	A	○	
	1280 x 1024	80.00	75.08	135.20	A	A	A	○	
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	30.24	A	A	A	○	
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	31.33	A	A	A	○	
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	57.283	A	A	A	○	
MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08	80.01	A	A	A	○	
MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06	100.00	A	A	A	○	
SXGA+1	1400 x 1050	63.970	60.190	107.99					
SXGA+2	1400 x 1050	65.350	60.120	122.85					
SXGA+3	1400 x 1050	65.120	59.900	122.43					

*1：解像度の末尾にある「i」は、インターレース信号を示します。
*2：画質を表す記号は下記の通りです。
　AA: 最高画質で投写できます。
　A:　映像処理回路で変換して投写します。

モード	解像度 *1（ドット）	走査周波数		ドットクロック周波数 (MHz)	画質 *2			プラグアンドプレイ対応	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-LW25H	PT-LX30H	PT-LX26H	コンピューター	
XGA	1024 x 768	48.36	60.00	65.00	A	AA	AA		C
		68.677	84.977	94.504	A	AA	AA	○	
		60.023	75.03	78.75	A	AA	AA	○	
		56.476	70.07	75.00	A	AA	AA	○	
		60.31	74.92	79.252	A	AA	AA		
		48.50	60.02	65.179	A	AA	AA		
		44.00	54.58	59.129	A	AA	AA		
		63.48	79.35	83.41	A	AA	AA		
		62.04	77.07	84.375	A	AA	AA		
		61.00	75.70	81.00	A	AA	AA		
		46.90	58.20	63.03	A	AA	AA		
		47.00	58.30	61.664	A	AA	AA		
		58.03	72.00	74.745	A	AA	AA		
	1024 x 768i	36.00	87.17	47.30	A	AA	AA		
		35.522	86.96	44.90	A	AA	AA		
SXGA	1152 x 864	64.20	70.40	94.56	A	A	A		
	1152 x 900	61.20	65.20	92.00	A	A	A		
		71.40	75.60	105.10	A	A	A		
		61.85	66.00	94.50	A	A	A		
	1280 x 960	60.00	60.00	108.00	A	A	A	○	
	1280 x 1024	62.50	58.60	108.00	A	A	A		
		63.90	60.00	107.35	A	A	A	○	
		63.34	59.98	108.18	A	A	A		
		63.74	60.01	109.497	A	A	A		
		71.69	67.19	117.004	A	A	A		
		81.13	76.107	135.008	A	A	A		
		63.98	60.02	108.00	A	A	A		
		79.976	75.025	135.00	A	A	A		
		63.37	60.01	111.52	A	A	A		
		76.97	72.00	130.08	A	A	A		
		63.79	60.18	108.19	A	A	A		
		91.146	85.024	157.5	A	A	A		
	1280 x 1024i	50.00	86.00	80.00	A	A	A		
		50.00	94.00	80.00	A	A	A		
		46.43	86.70	78.745	A	A	A		

*1： 解像度の末尾にある「i」は、インターレース信号を示します。
*2： 画質を表す記号は下記の通りです。
AA: 最高画質で投写できます。
A: 映像処理回路で変換して投写します。

モード	解像度 *1（ドット）	走査周波数		ドットクロック周波数 (MHz)	画質 *2			プラグアンドプレイ対応	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-LW25H	PT-LX30H	PT-LX26H	コンピューター	
UXGA	1600 x 1200	75.00	60.00	162.00	A	A	A	○	C
		81.25	65.00	175.50					
		87.50	70.00	189.00	A	A	A	○	
		93.75	75.00	202.50	A	A	A		
WXGA	1280 x 768	47.776	59.87	79.50	A	A	A		
		60.289	74.893	102.25	A	A	A	○	
		68.633	84.837	117.50					
	1280 x 800	49.60	60.05	79.36	AA	A	A		
		41.20	50.00	68.557	AA	A	A		
		49.702	59.81	83.50	AA	A	A	○	
		63.980	60.02	108.00					
		58.289	69.975	98.858					
		60.044	71.995	102.795					
		62.790	74.928	106.492					
		71.553	84.879	122.498					
		55.993	69.991	94.964					
		57.675	72.004	97.817					
	1366 x 768	48.36	60.00	86.67	A	A	A	○	
	1360 x 768	47.70	60.00	86.67					
		56.16	72.00	100.19					
	1376 x 768	48.36	60.00	86.67					
WSXGA+1	1680 x 1050	65.29	59.954	146.25					
WXGA+1	1440 x 900	55.935	59.887	106.50					
WXGA+2	1440 x 900	74.918	60.00	161.85					
WUXGA	1920 x 1200	74.556	59.885	193.25	A	A	A	○	
		74.038	59.95	154.00	A	A	A		

*1：解像度の末尾にある「i」は、インターレース信号を示します。
*2：画質を表す記号は下記の通りです。
AA: 最高画質で投写できます。
A: 映像処理回路で変換して投写します。

お知らせ

- PT-LW25H の表示ドット数は 1280 × 800、PT-LX30H/PT-LX26H の表示ドット数は 1024 × 768 です。解像度が異なる信号は、表示ドット数に変換されて表示されます。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

仕様

<table>
<tr><th colspan="2">品番</th><th>PT-LW25H</th><th>PT-LX30H</th><th>PT-LX26H</th></tr>
<tr><td colspan="2">使用電源</td><td colspan="3">AC100 V 50 Hz/60 Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">消費電力</td><td colspan="3">297 W</td></tr>
<tr><td colspan="3">[設定] の [スタンバイモード] を
[エコ] に設定時 : 0.37 W
[ネットワーク] に設定時 : 7.1 W</td></tr>
<tr><td rowspan="4">液晶パネル</td><td>サイズ</td><td>0.59 型
（アスペクト比 16 : 10）</td><td>0.63 型
（アスペクト比 4 : 3）</td><td>0.55 型
（アスペクト比 4 : 3）</td></tr>
<tr><td>表示方式</td><td colspan="3">透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式</td></tr>
<tr><td>駆動方式</td><td colspan="3">アクティブマトリクス方式</td></tr>
<tr><td>画素数</td><td>1 024 000 画素
（1,280 × 800 ドット）× 3 枚</td><td>786 432 画素
（1,024 × 768 ドット）× 3 枚</td><td>786 432 画素
（1,024 × 768 ドット）× 3 枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">レンズ</td><td colspan="3">マニュアルズーム（1.2 倍）・フォーカス
F 2.10 ～ 2.25、f 19.11 mm ～ 22.94 mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">光源ランプ</td><td colspan="3">230 W UHM ランプ</td></tr>
<tr><td colspan="2">光出力 *1</td><td>2500 lm (ANSI)</td><td>3000 lm (ANSI)</td><td>2600 lm (ANSI)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">対応走査周波数 *2</td><td rowspan="2">RGB 信号時</td><td colspan="3">水平 15 kHz ～ 100 kHz、垂直 50 Hz ～ 100 Hz</td></tr>
<tr><td colspan="3">ドットクロック周波数 : 140 MHz 以下</td></tr>
<tr><td>YP_BP_R 信号の場合</td><td colspan="3">[525i(480i)] 水平 15.75 kHz、垂直 60 Hz
[525p(480p)] 水平 31.5 kHz、垂直 60 Hz
[750(720)/60p] 水平 45 kHz、垂直 60 Hz
[1125(1080)/60i] 水平 33.75 kHz、垂直 60 Hz
[625i(576i)] 水平 15.63 kHz、垂直 50 Hz
[625p(576p)] 水平 31.25 kHz、垂直 50 Hz
[750(720)/50p] 水平 37.5 kHz、垂直 50 Hz
[1125(1080)50i] 水平 28.13 kHz、垂直 50 Hz
● HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。</td></tr>
<tr><td>ビデオ信号時
（S ビデオ含む）</td><td colspan="3">水平 15.75 kHz/15.63 kHz 垂直 50 Hz/60 Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">カラー方式</td><td colspan="3">7 方式（NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60）</td></tr>
<tr><td colspan="2">投写画面サイズ</td><td colspan="3">30 ～ 300 型</td></tr>
<tr><td colspan="2">画面アスペクト比</td><td>16 : 10</td><td>4 : 3</td><td>4 : 3</td></tr>
<tr><td colspan="2">投写方式</td><td colspan="3">フロント／リア／天つり／床置き（メニュー設定方式）</td></tr>
<tr><td colspan="2">スピーカー</td><td colspan="3">3.2 cm 円型 1 個</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声実用最大出力</td><td colspan="3">1 W</td></tr>
<tr><td colspan="2">コントラスト比 *1</td><td>3000 : 1（全白／全黒）</td><td>2500 : 1（全白／全黒）</td><td>2500 : 1（全白／全黒）</td></tr>
</table>

*1 : 計量、計量条件、表記の方法はすべて ISO21118 国際規格に準拠しています。
*2 : 本機で対応している映像信号については、「対応信号リスト」を参照ください。（☞69 ～ 71 ページ）

品番		PT-LW25H	PT-LX30H	PT-LX26H
接続端子	COMPUTER IN 1/COMPONENT IN S-VIDEO 入力端子	1 系統　Mini D-sub 15 p（メス） [RGB 信号]　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時 1.0 [p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 [YP_BP_R 信号]　Y:1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P_BP_R:0.7 V [p-p] 75 Ω [S-VIDEO 信号]　1 系統 Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応		
	COMPUTER IN 2/MONITOR OUT 端子	1 系統　Mini D-sub 15 p（メス） [RGB 信号]　0,7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時 1,0 [p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応		
	VIDEO 入力端子	1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω		
	AUDIO 入力端子	2 系統 M3 ステレオミニジャック 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω以上 1 系統 RCA ピンジャック× 2 (L-R) 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω以上		
	SERIAL IN 端子	1 系統 D-sub 9 p（オス）RS-232C 準拠 外部制御用		
	LAN 端子	1 系統 RJ-45 ネットワーク接続用、PJLink 対応		
電源コードの長さ		2.0 m		
外装ケース		樹脂成型品		
外形寸法		横幅 : 349.0 mm 高さ : 105.1 mm（アジャスター脚最小時） 奥行 : 247.0 mm（突起部含まず）		
質量		約 2.99 kg *3		
使用環境条件		使用環境温度 : 5 ˚C ～ 35 ˚C 使用環境湿度 : 20 % ～ 80 %（結露のないこと）		
リモコン	使用電源	DC 3 V（単 4 乾電池 2 個）		
	操作距離	約 7 m（受光部正面）		
	質量	67 g（乾電池含む）		
	外形寸法	横幅 : 52 mm, 高さ : 110 mm, 奥行 : 18 mm		

*3： 平均値。製品ごとの質量は異なることがあります。

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

その他

寸法

（単位：mm）

247.0

349.0

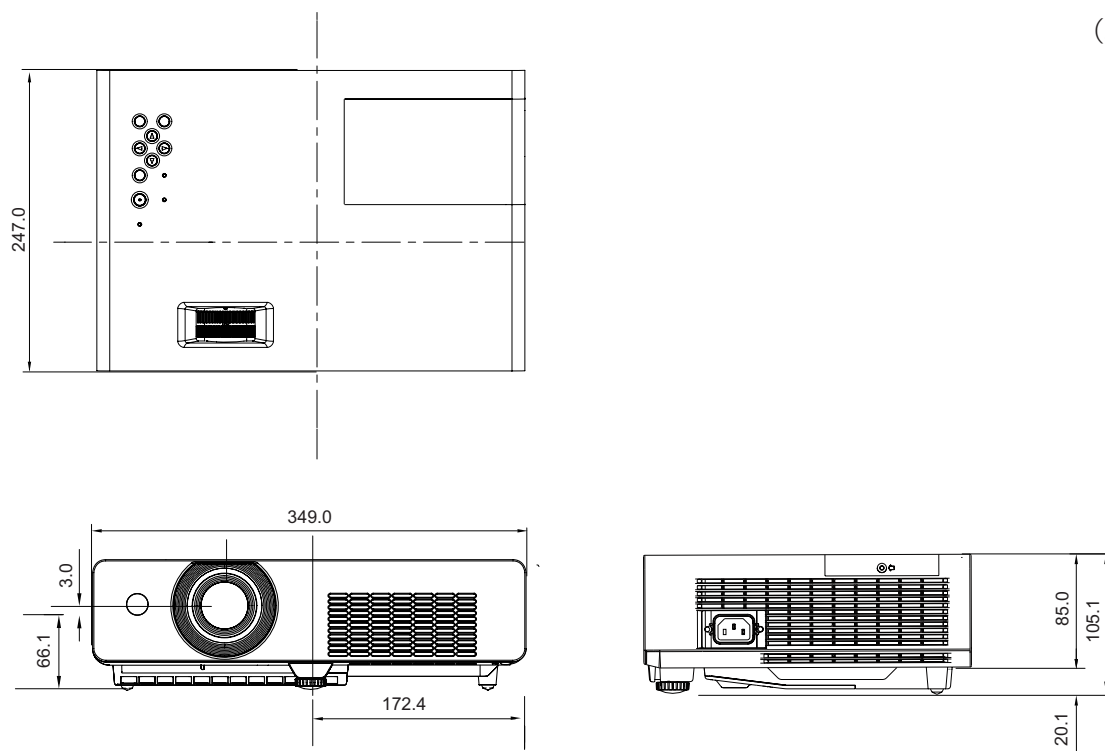
3.0

66.1

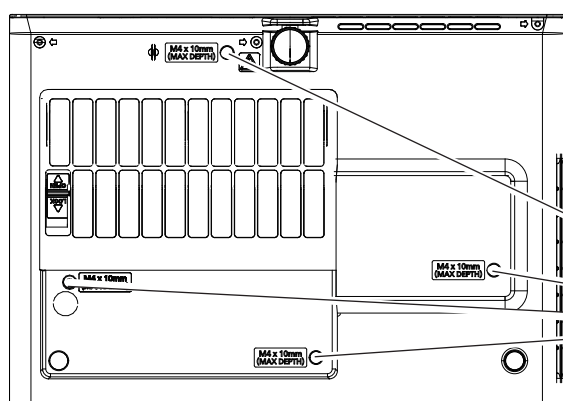
172.4

85.0

105.1

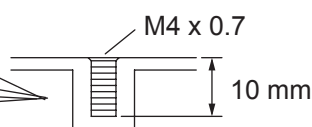
20.1

＊: 各製品で寸法は異なる場合があります。

天つり金具取り付け時の注意事項

- 工事は専門技術者にご依頼ください。
- 当社以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーを使用してください。電動ドライバー、インパクトドライバーは使用しないでください。
- 詳しくは天つり金具に同梱の工事説明書をよくお読みください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更することがあります。

天つり金具品番：ET-PKV100H（高天井用）
ET-PKV100S（低天井用）
ET-PKL100B（取付け用ベース金具）

ねじの締め付けトルク：1.2 ± 0.1N·m

その他

保証とアフターサービス （よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（下記、パナソニックプロジェクターサポートセンター）までご連絡ください。
＊ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

＊ ただし、光源ランプは 6 ヵ月またはランプ使用時間 600 時間の早い方となります。

補修用性能部品の保有期間 8 年

当社では、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。
＊ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認のうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
品番	PT-LX26H PT-LX30H PT-LW25H
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニックプロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら 0120-872-601 **受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）**
9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00

URL：http://panasonic.biz/projector/

※書面や電話 /FAX でお答えする場合や、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。
※お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

さくいん

アルファベット

A
AMX D.D. 56
AV ミュート機能 32

C
CD-ROM....................................... 14

L
〈LAMP〉インジケーター 58

W
〈WARNING〉インジケーター...... 58

かな

あ
明るさ.. 43
アジャスター脚の調整.................... 23
暗証番号登録中を知らせるシール. 28
暗証番号を入力する........................ 28
安全上のご注意................................. 6

い
色合い.. 43
色温度.. 44
色の濃さ 43
インジケーターが点灯したら.......... 58
インフォメーション.......................... 57

え
映像遅延制御 55
映像の映り具合を調整する............. 30

お
オートセットアップ.......................... 50
お手入れ / 部品交換....................... 59
オンスクリーン表示......................... 51
音量.. 49

か
各部の名称とはたらき 15
画質.. 44
画質モード 42
カスタム.. 46
カスタム調整 47
カラーボード................................... 42
ガンマ補正...................................... 44

く
クローズドキャプション................... 53

け
警告履歴 56
言語.. 50

こ
黒 (緑) 板...................................... 42
故障かな!?...................................... 64
ご使用になる前に............................ 10
コントラスト.................................... 43
コンピューターシステムの選択...... 37

さ
「サウンド」について....................... 49
サブメニュー.................................... 35

し
自動 PC 調整 39
自動入力切換.................................. 50
シネマ... 42
手動 PC 調整 40
仕様.. 72
消音.. 49
初期設定... 56
シリアル端子................................... 65

す
ズーム 46
スクリーンアスペクト....................... 48
「スクリーン」について................... 46
スタンバイモード............................. 52

せ
静止機能 32
セキュリティ 11, 54
接続する.. 24
接続端子部 17
設置する.. 19
「設定」について............................. 50

そ
その他の端子 68

た
対応信号リスト................................ 69
台形補正 31, 47
ダイナミック.................................... 42
ダイレクトオン................................. 52
ダイレクトパワーオフ機能............... 29
端子.. 52

て
デジタルズーム 47
電源インジケーター......................... 26
電源コードの接続............................ 25
電源を入れる................................... 27
電源を切る....................................... 29
電池を入れる、取り出す.................. 18
天つり... 48

と
投写.. 30
投写関係 20
投写距離 20, 21, 22
投写する映像を選択する................. 30
投写方式 19

に
入力信号の切り換え......................... 31
「入力」について............................. 37

の
ノイズリダクション.......................... 45
ノーマル.. 46

は
廃棄について................................... 11
バックグラウンド 51
パワーマネージメント...................... 52

ひ
ピッタリワイド 46
ビデオシステムの選択 37
標準.. 42

ふ
ファン 55
ファン制御....................................... 55
フィルターカウンター............. 55, 56
付属品の確認 13
部品交換 59
フル 46
プレゼンテーションタイマー........... 53
プログレッシブ 45

へ
別売品... 14

ほ
保証とアフターサービス................. 75
本機の運搬について 10
本機の設置について 10
本機の取り扱いについて 12
本体.. 16
本体操作部 17

め
メインメニュー................................. 35
メニュー画面の操作方法 34
メニュー位置................................... 50

ら
ランプパワー.................................... 54
ランプユニット 61, 62
ランプユニットの交換...................... 62

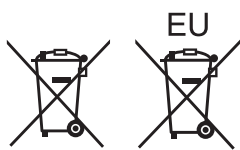
り
リアル.................................... 42, 46
リア投映.. 48
リモコン 15
リモコンコード 18, 54
リモコンによる基本操作 31
リモコンの使い方 18

れ
レンズキャップの取り付け............... 63

ろ
ロゴ 51

わ
ワイド (16:9).................................. 46

その他

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社　プロジェクタービジネスユニット

〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号　 電話 0120-872-601